

# 志の言の葉

～大切な人に伝えたい私の思い～

【題字】安楽小学校 6年 福元愛梨



志布志市教育委員会 編

目次

はじめに

親へ  
・  
・  
・  
・  
・

P  
1

）

P  
27

家族へ  
・  
・  
・  
・  
・

P  
28

）

P  
36

先生へ  
・  
・  
・  
・  
・

P  
37

）

P  
45

地域の方へ

夢や目標

友人へ



P  
46

）

P  
55

おわりに

## はじめに

これまで、多くの子供たちやその家族、そして地域の方々との出会いをいただいています。状況や立場はみんな違ってはいますが、どの人も志を抱き、自他の幸せを願いながら、人とのつながりや日々の営みを大事にされています。そして誰もが、その学校や家族、地域や社会にとって、かけがえのない存在となっています。

子供たちを取り巻く社会の環境は大きく変化し続けていますが、生まれてきた子供自身は、昔も今もそう変わっていない気がします。変わったのはむしろ社会の環境であり、そして、それを築いた大人の方ではないかと思ってしまうことがあります。今の子供たちが直面する課題を観てみると、総じてすぐに明るい光を見出せそうになく、その解決には根強い取組を必要とするものが多いように思えます。こうした状況を踏まえて、「子供と家族、子供と教師、子供と地域とのかかわりが、教育の基盤である。」という原点に、立ち返ってみる必要があると思っています。その具体的な営みの中に、きっと、子育てや教育をめぐる課題を解決する糸口があるのではないかと考えています。

ここに、本市の子供が日々の出会いや経験を通して感じている感謝の思いや、将来へ向けて思い描いている姿を、『志の言の葉』第一巻として発行する運びとなりました。小学一年生から中学三年生までの子供たちが、自分なりの言葉で家族や先生、そして地域の方々に向けて書いています。その一言一句には、その子供、その家族、その先生の人柄や雰囲気、気がほのかににじみ、家庭教育・学校教育・社会教育の在り方等や進むべき方向を考える上でも、なおざりにしてはならない大切なことが内包されているのではないかと思います。

今の子供たちは、スマートフォンをはじめとするデジタル情報化社会が加速する中で育っていきます。その子供について、「最近の子供は心が育っていない。単語の羅列だけでまともな文章が書けない。言葉にして自分の思いを伝えられない。」などと、厳しい見方をされる方もいます。しかし、ここに掲載した一つ一つを読んでもみますと、伝えたい相手を意識して自分の経験や思いを自分の言葉で表現しています。読み進めるうちに思わず胸が震えてしまうこともあります。相手を意識して文を綴るという営みは、豊かな感性や道徳性、知性を育むためにも意味のあることだと考えています。

ぜひ、多くの皆様に読んでいただき、今を生きている志布志市の子供たちに思いを巡らしていただきたい。そして、これまで以上に、志布志市の子供たちに温かいまなざしで、時に励まし、時に戒めの言葉を届けつつも、期待をかけていただきたいと願っています。私たち大人は、この子供たちに、「志布志市の未来、日本の明日」を託すのですから。

社会の環境をつくるのは大人。それをより良い方向に変えていくのも大人の役目です。本冊子が、子育てや教育についてしばし立ち止まって振り返るきっかけとなり、明日への元気と豊かな未来づくりへの小さな一歩にでもなれば、誠に幸いです。

令和四年三月一日

志布志市教育委員会 教育長 福田裕生



親へ



大すきなお母さんへ

松山小学校二年 草ノ瀬穂香

いつも休みの日は、おうちのしごとをしてくれて、ありがとう。わたしは、そのおしごとをしているすがたを見て、ありがとうと、いつも思っているよ。お母さんが、おしごとをがんばっているから、わたしもまい日しあわせだよ。

お母さんありがとう

松山小学校三年 中村瑠希

おかあさん、おいしいごぼうハンバーグを作ってくれてありがとう。たれと、ごぼうのくみあわせが、あまいかんじで、とつてもおいしいです。食べたらふんわりしたかんじでおいしいです。ぼくは、そんなお母さんがだいすきです。これからは、ごはんのときにお手伝いをします。

あこがれの母

松山小学校六年 野口奏空

私の母は、老人ホームで働いています。私は、しょう来母のように老人ホームで働きたいです。それは、つかれて帰ってくる母がきらきらして見えるからです。会ったことのないお年寄りの方とふれあうことで相手も自分も幸せになれる。そんな仕事がいいです。今は、機械化が進み仕事が減ってきています。でも、機械は人の心は分かりません。本当の気持ちを知ってあげられるのは私たち人間だけです。もっともつと勉強して母のようになりたいです。

お母さんへいつもありがとう

泰野小学校三年 宮田真菜

わたしは、いつもいえのことをしてくれたお母さんにありがとうといってみたくて。なぜかというわたしは、お母さんにありがとうといいたことがないからです。わたしは、よく頭がいたいときがいつぱいあるので、その時にやさしくしてくれたのが心にのこっています。わたしは、もう一つ心にのこったことがあります。その一つは、ならいごとに行くのに車がひつようです。その時にいつもお母さんが車をだしてくれているのが心にのこりました。さいごに、お母さんが家のことをしてくれていたことがとてもうれしいです。お母さんにありがとうといっぱい言ってあげたいと思います。これからもお母さんといっしょにがんばりたいです。

きばいやんせ

泰野小学校五年 別府咲

お父さん、お母さんピーマンでつかれているのに、ぼくたち兄弟三人を笑顔にしてくれてありがとう。いつもお父さんたちは、ぼくに心配しているけどぼくは、毎日毎日楽しくてたまらないよ。ぼくが起きた時にはお父さんがいなくて仕事に行ってがんばってるな、と思うとかっこいいよ。お母さんは、朝ぼくたちを見送ってそこから仕事しているのは、すごいよ。毎日頑張っている姿を見ると時々心配するから、たまには、休みを取ってね。今、ピーマン大変だから休日の日は、僕をよんでね。おとうさん、お母さんならできる。「きばいやんせ」

今だからこそ伝えたいぼくの思い

泰野小学校六年 永田侑也

ぼくはお母さんにありがとうという気持ちを伝えたい。あたりまえの様に過ごす日々、めいわくをかけてばかりの生活、言いたいと思う時もあったが勇気がない。でも、こういう機会があるという事で言いたいことをすべてこれに書こうと思う。いつもぼくのがままに付き合ってくれてありがとう。ねる時間をけずってまで洗たく物を干してくれてありがとう。そして、何より、僕を産んでくれてありがとう。

お母さんありがとう

尾野見小学校四年 上村紅葉

わたしの母は、いつも五時ごろに起きてほかほかの朝ご飯を作ったり、家族四人分の洗たく物をほしたりしてくれている。わが家をささえてくれている母に、わたしは感謝しているが、よく母はわたしに、「洗たく物をほしなさい。食器を洗いなさい。」と言ってくる。なぜこんなにたくさんのお手伝いをたのむのか気になっていたので、母に聞いてみた。すると、「それはね、紅葉がしよう来お母さんになっても困らないためだよ。」と、あたり前のように言った。この言葉を聞いて、私は胸があつく感じた。わたしのしよう来のことまで考えてくれる母の思いを大切に、お手伝いをがんばりたい。

いつもありがとう

志布志小学校五年 森屋胡桃

いつも、色々なことをしてくれてありがとう。わたしは、色々なことをしてくれるお父さんが大好きです。今は、足をけがしていていっしょに遊べないけど、足がなおったら、たくさん遊ぼうね。コロナもおさまって、足もなおったらお出かけもしようね。いつもつくってくれるごはんは、とつてもおいしいよ！これからもよろしくお願ひします。あと、体にも気を付けてください。

母がいるって最高だな

志布志小学校五年

徳永美咲

私が小学三年生のころ、母がたおれきゆうきゆう車で病院に運ばれた。いつも元気な母なのにこんなことになるなんて思いもしなかった。母は、病院ですぐに手術し、約一カ月間入院した。病院が家から近かったので、たくさんお見舞いに行き、私は母の顔を見るだけでむねが苦しくなった。母が退院する日、うれしい気持ちでいっぱいだった。今でもこのことを思い出すとなみだがこぼれそうになる。今は、家事や仕事をがんばってかれている。優しいし、みんなのために色んなことをがんばってくださるし、ときにはおこられることもあるけど、一緒にいるだけで楽しくなれる。私は、毎日「お母さんがいるって最高だな」と思う。

父さん

志布志小学校五年

柿元乃衣

私は、お父さんにおこられたときはうるさいなあと思ってしまう。でも、部屋にもどって考えてみると、自分のどんな行動が悪かったかすぐに気づく。お父さんが私を思っておこっていることも分かる。だから、なんであんなことを思ったのだろうかというも反省する。この前は、私がわからなかった問題をいっしょに解いてくれた。お父さんは最近お仕事がいそがしい。だけど、私がわかるまででいねいに教えてくれた。私のお父さんはとってもやさしい。でも、ちゃんとしかつてくれる。だからこそ、私はお父さんが大好きだ。

いつもありがとう

志布志小学校六年

田ノ崎優莉亜

仕事場から帰って来てから明るい声で「ただいま」って言ってくれてありがとう。つかれているのに夜ご飯を作ってくれてありがとう。お手伝いがあまり出来なくてごめんさい。言う事聞かなくてごめんさい。でも、そんな私を受け入れてくれてありがとう。これからも、こんな私をよろしくお願いします。

お父さんへ

志布志小学校六年

迫結衣梨

私は、お父さんが、オリンピックでバレーボールを見ていなかったら、自分の好きな科目やしゅ味など色々なことができていなかったと思います。私は、中学校でバレー部に入ろうと思っっています。私はまだまだ下手くそだけど、お父さんがアドバイスしてくれるので、前は全く出来なかったことでも、今は出来るようになりました。まだまだお父さんにはおよばないけれど、いつかは、お父さんみたいになれるように、がんばりたいです。そして、お父さんは、じまんできるくらいやさしい人です。今、自分がやさしくしてくれたくらい私が大人になったら恩返しをしてあげたいと思います。ふだん、伝えられないけど、「いつもありがとう。」



ぼくの心の言葉

志布志小学校六年 若水仁

ぼくが、感謝したい人は母です。その理由はまず元気に産んでくれたからです。元気に産んでくれたから、できることがたくさんあります。それは、バスケやドッジボールなどの運動です。体を動かす事が好きなのは、元気でよかつたなと思います。次に、ご飯や洗たくなどのお世話をしてくれる事です。仕事の後やつかれた時も、休むことなく働いてくれます。ぼくは、まだ一人では生きていけません。だから母がしてくれる事を、当たり前だと思わず、ありがとうの気持ちをもっていこうと思います。

ぼくのお父さん

香月小学校一年 なかしまりく

ぼくのおとうさんはあさはやくからおしごとに行きます。おとうさんはつかれてかえってきて、かならず、ぼくといっしょにがつこうのじゅんびをしてくれます。おやすみのひはたくさんあそんでくれます。ぼくはおとうさんがだいすきです。

おかあさんのにゆういん

香月小学校一年 わたなべあやね

くがつになつて、おかあさんが、びょうきでにゆういんしました。おかあさんが、いえに、いないのは、はじめてで、とてもさみしいでした。おかあさんも、びょういんで、がんばっているのは、はやね、はやおき、がつこうと、がくどうのじゅんびを、おとうさんと、まいにちしました。あさとよるに、おかあさんと、でんわではなしをするのが、まいにちのたのしみでした。いちばんうれしいでした。おとうさん、おかあさんありがとう。

ママいつもありがとう

香月小学校二年 津代琉唯

ママ、しごとをがんばってくれてありがとう。おいしいごはんをつくってくれてありがとう。つぎの日のじゅんびをいっしょにしてくれてありがとう。ぼくをうんでくれてありがとう。ママは、ぼくのたからもの。

## お母さんのおべん当

香月小学校三年

井上叶夢

ぼくのお母さんは、土曜日にいつもべん当を作ってくれます。学童に持っていくべん当です。ぼくは、お母さんが、べん当を作る時、とてもうれしい気持ちになります。なぜかというと、毎日、朝ごはんなど食べているけど、おべん当は、とてもおいしいからです。だから、ぼくは、お母さんがべん当を作る時、うれしい気持ちになるのです。とくに、えだ豆のふりかけの上に、目玉やきがのっついていて、そのとなりには玉子やきやハム、ミートボールがあるおべん当が大スキです。食べたなら、公園で虫さがしをする元気が出ます。二十五日、土曜日の時のおべん当が楽しみです。

## お母さんへの感しゃの気持ち

香月小学校五年

中江魁斗

ぼくのお母さんは、朝から夕方まで仕事をしている。そして、ほとんど毎日のように仕事が終わるとすぐに、バタバタとお兄ちゃんとお母さんの送るむかえをしてくれる。朝早く起きて家事をして、仕事、サッカーの試合があるときは応えんに来てくれるので、ぼくのお母さんはゆっくり休む日がない。毎日、つかれているのにやさしくしてくれて、たくさんがんばっていてありがとうと伝えたい。ぼくがもっとお手伝いをして、お母さんがゆっくり出来る時間を作ってあげたいと思う。

## お父さん、お母さん、ありがとう

香月小学校五年

池本ほのか

私たちのために、いつもお仕事がんばってくれてありがとう。家事をしてくれたり、いっしょに遊んだり、いっしょにおこったり、泣いたり、笑ったり、いっしょけんめい私たちのことを思ってくれてありがとう。私の心の支えです。お父さん、お母さんがいるから、いやなことも、のりこえられます。いつか、親こうこうができると思います。大切に幸せな家族です。これからもえ顔のたえない幸せな家族にしたいです。そうするには、私たちの協力も必要です。お父さん、お母さんがいそがしい時は、お手伝いしたいと思います。私はこの家族が世界一大切で、大好きです。お父さん、お母さん産んでくれてありがとう。ずっと、よろしくお願いします。



## 母の笑顔

香月小学校五年

山下すみれ

私は、母の笑顔が好きだ。私は夢をみた。母が亡くなる夢を。私は飛び起きてのろのろと母の寝室に行った。そこにはいつものように母が寝ていた。私は夢のことを話してみた。「へーえ。私は、星になっちゃった?」「うん。」母の問いに答えながら、計算してみた。「(母の年齢)×二だと?」母に問うと、「うん、星になってるかもね。」と言つてにこつと笑つた。大丈夫、まだ私はピンピンだから。そう言つて私の手に優しく手を重ねた。私は素直に言えないけど、母と母の笑顔が大好きだ。笑顔を絶やさないで、長生きしてほしいと思う。

きらいじゃないよ

香月小学校五年

長野奈実

ごめんね。わたし、おこられるとついカツとなつて、ぎゃくぎれしちゃうの。そして、後かいしちゃう。でも、わたしそれでもお母さんのこと大好き。わたしのことがんばつて生んでくれたし。だから、わたし、がんばる。お母さんのことおこらせないように、ぎゃくぎれしないように、お母さんの自まんのむすめになれるように、がんばるから、これからも、よろしくね。

親に対する自分の感謝

香月小学校六年

二反田悠晟

いつも仕事に行つたりご飯を作つたり遊んでくれたりしてくれるのは、自分にとっては大きな感謝になります。たまに自分が、悪いことをしてしまつて怒つてくれますが、それが後に「あの時に自分を怒つてくれてありがとう・・・。」という気持ちになります。最近はいそがしいこともあり、いろいろしてくれたりしても大きい感謝を伝えられていません。なので休日などに、「今までいろいろ助けてくれたり怒つたりしてくれてありがとう。」と大きな感謝を伝えようと思います。そして今度は、自分が大きな感謝を伝えた後に助けたりしていきながらいろいろ恩返しをして感謝の気持ちを伝えようと思います。

家族へのかんしゃ

潤ヶ野小学校三年

山すそあさひ

お母さん、そだててくれてありがとう。そして、産んでくれてありがとう。わたしは、お母さんが、作ってくれるごはんの中で、からあげがすきです。きのうもおいしくて三個食べました。おべんとうからあげが入っていると、とてもうれしい気持ちになります。わたしも、お母さんみたくにおりょうりが上手になりたいです。家族のために、一生けんめい朝から、夜おそくまではたらいでくれてありがとう。せんたく物は、いつもきれいにたんでくれてありがとう。お母さんが、いつもおうちのことをがんばつてくれているので、わたしも学校のことや、お手伝いをがんばりたいと思います。お母さんいつもありがとう。

わたしの大すきな家族

潤ヶ野小学校三年

工どう歩み

ママ、おもしろい事を言っているのも楽しい気持ちにしてくれてありがとう。パパ、休みの日に遊んでくれてありがとう。お仕事たいへんなのに、りよ行にいたり、大きなぬいぐるみを買ってくれてありがとう。おねえちゃんいつもいっしょに遊んでくれて、けんかもいっばいするけど大すきだよ。おばあちゃんそろばん教えてくれてありがとう。おじいちゃん、やさしくてじょうだん言っておもしろいね。みんなでご飯を食った後にゲーム大会をするのがいつも楽しいです。ゲームをしてみんなでいる時間がわたしは大すきです。これからもみんななかよくすごしたいです。

私の自まんのお母さん

潤ヶ野小学校五年

工藤萌

私の自まんのお母さんへ。いつも、仕事をしながら、私たちのために洗濯物やアイロンがけ、ご飯作りなど家のことをがんばってくれてありがとう。いつも私たちのことを心配してくれてありがとう。わたしが、体調を崩した時、仕事を休んでかん病してくれたね。お母さんがいてくれたから、とても安心したよ。おこられることもあるけど、その日にあったことを聞いて、時には相談にものってくれてありがとう。お母さんのおかげで、私たちは、元気に大きくなりました。お母さんは、私の心の大きな支えだよ。これからも、私の自まんのお母さんでいてね。

おかあさん、ありがとう

安楽小学校一年

原村晴斗

おかあさんは、おしごとがやすみのにちようびに、ぼくとおとうとをいろんなところへつれていってくださいます。ぼくがうれしいのは、おかあさんというんなはなしをして、たのしくすごせるからです。おしごとをがんばっているから、かっこいいので、ぼくは、おかあさんにいつも「ありがとう。」っておもっています。これからは、おかあさんのおてつだいもがんばりたいとおもっています。

おかあさんへの手が見

安楽小学校一年

宮内花歩

きょう、おかあさんに手が見をプレゼントしました。手が見には、こうかきました。「おかあさんへ、いつもごほんやおしごとをがんばってくれて、ありがとう。」その手が見をおかあさんによんであげると、「かほ、ほんとうにありがとうね。」と、よろこんでくれました。そして、わたしのことを、ぎゆうつとだきしめてくれました。わたしは、おかあさんに「大すきだよ。」といいました。よるは、おかあさんといっしょにねました。「あしたは、わたしがおさらをあらうね。」といいました。

おかあさん、ありがとう

安楽小学校二年 中野彩羽

おかあさん、いつもごはんを作ってくれたり、せんたくしてくれたりして、ありがとう。わたしが八才のたん生日の時に、二人だけでわがままデートをして、いろいろなわがままをきいてくれたよね。とっても楽しかったよ。みんなでダグリの海に行つて、貝がらひろいもしたよね。きれいな貝がらを見つけて、とてもうれしかったよ。おかあさん、おしごとたくさんがんばってね。わたしも家のお手伝いをたくさんするからね。大すきだよ。

お父さんへ

安楽小学校二年 峰松雛乃

いつもわたしたちのために、おしごとをがんばってくれてありがとう。コロナウイルスがおさまって、お父さんがはから帰ってくるのを楽しみにしているよ。今年の夏休みは、家ぞく四人でかのやの公園でゴーカートにのったよね。そして、いっしょにごはんも食べたよね。わたしは、とても楽しかったよ。お父さんも楽しい思い出になっているといいな。お父さんといっしょに、もつといろいろなことをしたいな。帰ってくるのをまっているよ。わたしは、学校に行つて、おべんきようをがんばるから、お父さんもおしごとをがんばってね。

お父さんへ

安楽小学校二年 重信奏心

お父さんは、いつもぼくたちがねた後、しごとから帰ってきます。朝は、早くしごとに行くので、ゆっくりお話をする時間がありません。でも、しごとから早く帰ってきたら、ぼくの行っている学どうにむかえに来てくれるので、うれしくなります。それに、ぼくとお父さんが休みの日、スケートボードののり方を教えてくれたこともありました。スケートボードにのれるお父さんは、かっこよかったです。ぼくがうまくのれるようになってきて、お父さんもうれしそうでした。ぼくは、お父さんにゆっくり休んでほしいけれど、いっしょに遊びたいときもあります。お父さん、いつもありがとう。

おかあさんいつも、ありがとう

安楽小学校三年 宮内咲希

おかあさん、いつも朝や夜ごはんを作ってくれてありがとう。家のおそうじもしてくれてありがとう。いつもたいへんだよね。わたしもお手伝いするからなんでも言っただね。そしたらお母さんが言ったこと、ぜんぶやるよ。学校のじゅんびもすぐして、お母さんの夜ごはんのお手伝いもするからね。休みの日もたくさんお手つだいするから、お母さんはゆつくり休んでいてね。お母さんの作ったごはんの中に、にがてなものがあったら、たまにはゆつくり休んでね。いつもありがとう。

お母さんに伝えたい私の思い

安楽小学校三年 門松千優

いつもありがとうお母さん。お母さんには、たくさんありがとうの気持ちを伝えたいです。私を生んでくれてありがとう。私の名前を一生けん命考えてくれたことを聞いた時、教えてくれた時、とてもうれしかったです。お母さん、生まれた時のことを手紙に書いてくれてありがとう。他にもいっぱいあります。私は、これからたくさんさんのことをべん強して、がんばりたいと思います。さい後にお父さん、お母さん本当にありがとう。せい長を見守っていてください。

大すきお父さん

安楽小学校三年 福岡佐保

わたしは、お父さんが大すきです。わたしの名前をつけてくれたのも、お父さんでした。お父さんは、家族のために毎日仕事をしています。びしよぬれになって帰ってきたり、電話が来るとすぐにげん場にかけてつけたりします。休みの日、お父さんは、ソファでだらだらしている時もあります。そういう時は、「いつもは仕事でいそがしいからかな。」と思います。すぐつかれていそがしい時は、「かたもみしてあげようかな。」と思います。でも、はずかしくて言えませぬ。てれくさくて言えませぬ。それでもいつか、かたもみして大すきなお父さんによるこんでもらいたいです。



感しやの気もち

安楽小学校三年生

馬場陽乃

ママ、いそがしいのに赤ちゃんのころのことを教えてくれてありがとう。わたしが生まれて五ヶ月もたたないうちに中耳炎になったなんて、びっくりしたよ。でも、ママがびょういんに何ども通ってくれたおかげで、今は元気にすごせているんだね。ありがとう。それから、二年生のころ、名前のことを教えてくれたよね。わたしの「陽乃」っていう名前は、「太陽のように、いつもえがおでいてほしいというねがいから『陽』という字を使った」というのを知って、うれしいなと思ったよ。毎日楽しく生きていけるのは、ママのおかげだね。いつもえがおですごしているよ。ママ、わたしを生んでくれてありがとう。

料理は私にまかせて

安楽小学校四年

中浜夏鈴

私は、料理をするのが好きだ。一年前母が私の好きなハンバーグを作る時に、私も作ってみたいなと思い、手伝った。肉をこねたり、焼いたり。母は「二人だと早く終わるね。手間もかからないから、これからも一緒に作ろうね。」と言った。私は、楽しくて、他の料理も作ってみた。チャーハンや親子丼、スープなど。兄たちがおかわりをいっぱいして、作った料理が全部なくなった。とてもうれしかった。母が手の手術で入院してしばらくいない日が続いた。「よし、私の出番だ。」父と力を合わせて料理をした。母から教わったやり方を父に教えた。「お母さん、安心してね。料理は私にまかせて。」と伝えたい。

ありがとうお母さん

安楽小学校五年

八木ゆきな

わたしは、小さいころ「川崎病」という病気になりました。そんな中、お母さんがわたしをささえてくれて、今では、病気や風邪になりにくい、強い体になりました。お母さんいつもありがとうね。これからも世話をかけるわたしだけど、よろしくね。そして、たまには、休んだりしてね。体調がわるくなったらわたしに伝えてね。これからもよろしく。



私の味方、お母さん

安楽小学校五年 大廻心結

「お母さん、助けて。」友達とトラブルがあったときも優しく寄りそってくれたお母さん。いつもいつも本当にありがとう。私たちのために働いてくれたり、ご飯を作ってくれたり、感謝したいことが山ほどあって言いきれないくらいだよ。私は、お母さんにおこられたときにいやな顔になるけれど、最後はやっぱり「悪かったな。」と思うよ。おこられる度に「このときおこられてよかったな。」って思うよ。友達とけんかしても、いつも優しく話を聞いてくれて、私も「学校がんばろう！」って思えるよ。写真で見た、あんなに小さかった私に、毎日寄りそってここまで大きく育ててくれたこと、すごく感謝してるよ。これからもよろしくね。

親への感謝

安楽小学校六年 小久保玲奈

ご飯づくりとそうじ、洗たくなど、いつもやってくれるのが当たり前だと思っていました。でも自分でやってみると、皿あらいや洗たく物をたたむだけで大変だと知りました。これを毎日、仕事が終わった後にやっているので、すごいと思います。仕事前の送りむかえなどもお母さんやお父さんのおかげでできることがたくさんあります。たくさんめいわくをかけると思うけどこれからもよろしくお願いします。ありがとうございます。

母に感謝

安楽小学校六年 佐藤乃ノ佳

私は、ふだん何かをしてもらっている。気にかけてくれて、のどがかわいている時は水を、暑い時は冷たい飲み物を、体が冷えている時はあたたかい飲み物を出してくれるお母さん。ふだんは、注意されたり、おこられたりして、よくいやだなと思ってしまうことが多いけれど、困っている時は、相談にのってくれたり、助けてくれたりする。本当に心強いなと思う。だから、これからは私がお母さんに何かをしてあげて、喜ばせてあげたいと思う。そして、おん返しみたいなものができるように常に何かしてあげられるようなことがあればやろうと考えている。

お母さんへ

田之浦小学校二年 さき田夕ま

お母さん、ぼくを生んでくれてありがとう。お母さんがぼくを生んでくれなかったら、ぼくはみんなに出会うことができませんでした。ぼくとお兄ちゃんのおせわはたいへんだと思います。でも、お母さんがいつもぼくたちのために毎日しごとをしたり、ごはんを作ったりがんばってくれています。だから、ぼくもできるだけ早くおきしたり、じぶんでできることをがんばったりしたいです。そうしたら、お母さんが少しでもしあわせになってくれるんじゃないかと思います。ぼくはお母さんのえ顔が大すきです。お母さんをもっとえ顔にしたいです。これからもよろしくおねがいします。



おかあさんもがんばってるんだね

伊崎田小学校 二年 さか下やまと

おかあさんがぼくのためにいつもおいしいごはんを作ってくれます。ぼくはいつも「おいしいね」と言います。おかあさんは、朝から四時三十分までおしごとをしています。いつもしごと中に、「しゅくだいおわた。」と言ってくれます。いそがしいのに、ぼくのことをしんぱいしてくれるのが、うれしいです。ぼくもおかあさんに「がんばってね。」と言いたいです。

かあちゃんありがとう

伊崎田小学校三年 上室なつき

いつもおいしいごはんや服をあらってくれてありがとう。かあちゃんがいつもおいしいごはんを作ってくれるからいつも元気がでるんだよ。ほかに、まいばん服をきれいにあらってくれたから毎日きれいな服を着れるんだよ。毎日、毎日ありがとう。本当にかんしゃしているよ。だから、ぼくも、せんとくものほしや、せんとくものたみ、できるかぎりのことをしていくね。おてつだいがあつたらいつでも二十四時間三百六十五日声をかけてね。

これからけんかをするかもしれないけど、なかよくしていこうね。ぼくもこれからべんきょうたくさんがんばるね。おしごとがんばってください。

いつもありがとう

伊崎田小学校四年 坂下愛心

お父さん、お母さんいつもありがとう。お母さん、いつもごはんを作ってくれたり、わたしたちのためにいろいろしてくれたり、ありがとう。そして、いつもめいわくをかけてごめんさい。お父さん、いつも、かぞくのために、おそくまではたらいとお金をたくさんかせいでくれて、ありがとう。そして、いつもやさしくしてくれてありがとう。これからも、たくさんめいわくをかけるかもしれないけど、これからもよろしくね。これからもなかよくしようね。お父さんと、お母さんをたくさんたよりにしています。これからもつとたいへんになるかもしれないけど、いっしょにのりこえようね。これからもずっといっしょだよ。

ありがとう

伊崎田小学校六年 福松千菜

お母さんは、いつも、わたしの味方になってくれるよね。ありがとう。いつも、おいしいご飯を作ってくれてありがとう。毎日、わたしのためにお仕事がんばってくれてありがとう。けんかする時もあるけど、お母さんがわたしのお母さんで良かったなあっていつも思います。もうすぐで、小学生から中学生に上がるけど、ここまでこれたのは、お母さんのおかげだと思っています。本当にありがとう。感謝してもしきれません。今まで、たくさんお母さんと思いい出をつくってきたけど、どれもいい思い出ばかりです。わたしのお母さんは、最高のお母さんです。これからもよろしくね。

応援ありがとう

蓬原小学校五年

上野大翔

お父さん、お母さんへ、いつもごはんを作ってくれたり、サッカーの試合を見に来てくれてありがとう。初めてサッカーをするといった時に、スパイクや服など、サッカーに必要な物を買ってくれたときや、やり方を教えてくれたときは、うれしかったです。これからもよろしくね。

お母さんへ

蓬原小学校六年

堀口綾夏

いつも、ご飯を作ってくれたり、洗たく物を干したりしてくれてありがとう。お母さんのようになりたいくて、洗たく物を干したり、お料理やさいほうをしてみても、お母さんみたいにテキパキとできないし、まったく上手にできなくて、あらためて、「お母さんってすごいんだなあ。」と思いました。まだまだ、お母さんの足もとにもおよばないけれど、自分ができる限りのことを精一ぱいがんばるので、また今度、さいほうのやり方を教えてください。

お母さんへ

蓬原小学校六年

外山隼

いつも、りょうりや家事をしてくれてありがとう。シングルマザーで仕事をがんばっているのに、すごいです。ときには、りょうりにもんくを言ったり、お姉ちゃんとケンカをして、お母さんをおこらせてごめんさい。がんばりすぎないように、体を大事にして長生きしてください。

お父さん、お母さんへ

蓬原小学校六年

宮島綺李

いつも、私たちのために働いてくれてありがとう。私が、学校の色々なテストで、いい点を見せた時に「よかったね。頑張ったね。」と言ってくれてとてもうれしくなるよ。バレーの練習試合や、試合でサーブをたくさんきめたときに、ハイタッチをしてくれてありがとう。この前の試合でも最後まで頑張ってくれてありがとう。次に、お出かけに行ってくれてありがとう。最後に、犬を飼ってくれてありがとう。いつもでも長生きしてね。



トリマーになりたい

野神小学校一年 たに山ゆあ

おとうさん、おかあさん、いつもおしごとがんばってくれてありがとう。おかあさんのつくるごはんは、なんでもおいしいです。お手つだいをして、おかあさんのおりょうりをおぼえたいです。それから、わたしは、大きくなったら、トリマーになりたいです。どうぶつがすきだからです。とくに、いぬがすきです。シャンプーをしたり、けをカットしたりして、かわいくしてあげたいです。みんなにかわいいといってもらって、ずっとかわいがってもらえるようにしたいです。

小学校のせんせいになりたい

野神小学校一年 たぶちもあ

おとうさん、おかあさん、あのね。わたし、大きくなったら小学校のせんせいになりたい。だから、いま、べんきようをがんばっている。さんすうは、くりあがりのけいさんをがんばっている。さくらんぼけいさんもできるようになったし、もう、あたまのなかでできるようになったよ。こくごは、かん字のれんしゅうをがんばっている。ちよつと、字があらくてせんせいにちゅういされるけれど、かきじゅんにきをつけて、ていねいにかいている。きのうは、せんせいにおみごとをもらった。だから、きょうもがんばる。おとうさん、おかあさん、わたしがせんせいになるのをずっと、おうえんしていてね。

おちややさんになりたい

野神小学校一年 まる口かいと

おとうさん、おかあさん、いつもおしごとがんばってくれてありがとう。それから、かぶとむしをいっしょにさがしにいってくれたり、せいかつかのどうぐをつくってくれたりしてくれてありがとう。おとうさんは、いつもかつこいい。きかいにのっておちやをつんだり、そうこのなかで大きなきかいをつかったりするのを見ると、ぼくもしてみたいなあとおもう。でも、おちやのしごととは、たいへんそうだなあ。だから、いまからたくさんべんきようして、おとうさんみたいにちからになっておかないとよし、がんばるぞ。おとうさん、大きくなったら、おちやのこと、たくさんおしえてね。

おとうさんとおかあさんへ

野神小学校二年 いそわきゆな

いつもおいしいごはんをつくってくれて、ありがとう。すききらいしてごめんね。すききらいしないようにがんばるね。おかあさんしごとがんばってね。おとうさん、いつもおしごとがんばってくれてありがとう。ときどきおいしいたきこみごはんやおいしいごはんをつくってくれてありがとう。これからも、おしごとがんばってね。

お母さんとお父さんへ

野神小学校二年 金光ほの花

いつも、ありがとう。お母さんがおいしいごはんを作ってくれて、とてもうれしいよ。お父さんは、毎日、みんなのために、はたらいてくれて、すごいよね。いつも、家ぞくのことを見まもってくれてありがとう。お母さんとお父さんが大すきだよ。本当にありがとう。そして本当に大すきだよ。これからも家ぞくみんなできょうりよくしてがんばろう。お母さんお父さんこれからもがんばってね。

お父さんお母さんへ

野神小学校二年 たつひらゆい

いつもいつもありがとう。おしごとをがんばってくれてありがとう。いつもいつも家のしごとをがんばってくれてありがとう。わたしは、お父さんお母さんとお話するのがすきだよ。お父さんお母さんともっともつとあそんだり、話したりももっともつしようね。もつともつとたくさんのおいでづくりやしたいことをたくさんしようね。いつもありがとう。

お母さんお父さんありがとう

野神小学校三年 平山すみれ

お父さんお母さんの仕事を毎日見たいです。お父さんは、子どもがいない時や、いやな顔をしている時に、「だいじょうぶ何かいやなことあったの」といつてくれるのが大すきです。お母さんは、わたしが、やることがいっぱいの時や、ふくがきまらない時にえらんだり手つたりしてくるので大すきです。わたしは、やさしく言うてくれるのが体にずつきんときてどんどん大すきになります。わたしは、ありがとうとかやさしい言葉を言う時、はずかしすぎるのでお手紙で書いちゃいます。お母さんうんでくれてありがとう。お父さんそだててくれてありがとう。お父さんお母さんこれからもがんばってね。わたしもがんばるからね。

かんしゃの気持ちでいっぱい

野神小学校四年 磯脇颯太

いつもぼくの送りむかえを笑顔でむかえてくれてありがとう。夏などは暑い中あせをたくさんかきながらも、四人でがんばりながら毎日学校に通って行きました。ぼくの今の将来の夢は医者になることです。そのために、本をたくさん読んだり、勉強にしゅう中したりしないと、思っています。そして、将来の目標は大学に行こうと思っっています。その理由は医者になるためには、まず、大学にいつていろいろなことを学ぼうときめました。なので大学にいけるよう小学校、中学校、高校でしっかりがんばっていききたいです。だからこれからもぼくの成長するすがた、ぼくののびようとする姿をいつまでも見守ってください。

ありがとう

野神小学校四年

金光和花

いつも子育てや家事をがんばってくれてありがとう。毎日、お母さんにばかりまかせてごめんね。わたしも学校で目ひようをもつてがんばっているから、つらいことがあっても、おたがいがんばろうね。わたしは、もう半成人になったよ。これからは、小さな子たちといっしょになってふざけるんじゃないやなくて、きちんと注意ができる四年生になれるようにがんばるね。大すきだよ。

世話してくれて本当にありがとう

野神小学校四年

山下凜

お母さん、わたしをうんでくれてありがとう。毎日毎日大変だったけどりっぱに育ててくれてありがとう。毎日ごはんをつくってくれてありがとう。お母さんに内緒にしていることがあります。逆上がりです。まだできないけどおうえんしてね。お父さん、わたしを育ててくれてありがとう。ときにはわがままだったね。ごめんなさい。ゲームで遊んだり、マスカットもいっぱい食べたりしたね。お父さん、お母さん、これからも長生きしてお仕事がんばってください。わたしのしょうらいの夢は、バレー選手です。いつまでもわたしとお兄ちゃんのことを育ててくださいね。また旅行行こうね。

かあちゃんへ

野神小学校五年

赤野奈々美

いつも、「手伝いをしなさい」「部屋をかたづけなさい」などけちでうるさいと思っ  
ています。なので、もういやになって口ごたえをしてしまいます。このときはごめん  
なさい。そんなかあちゃんでもいいところはたくさんあります。わたしが友達とケン  
カしたときは一生懸命、話を聞いて考えてくれます。またいいことがあったときは、  
かならずほめてくれます。そのときはとつてもうれいす。ありがとう。他にもま  
だいいところはあります。かあちゃん、いつもごめんなさい。そして、いつもありが  
とう。これからもよろしくおねがいます。

お母さんに伝えたい私の思い

野神小学校五年

宮地莉乃曖

お母さんはいつものがんばっている。家事をしたり、料理などいろいろしている。大  
変なことばかりしている。今すぐに、私に「やって」と言われてもできない。それを  
お母さんはしている。毎日毎日大変なのに自分たちのためにがんばってくれている。  
感謝をしないといけない。自分や兄弟のめんどろを見たり、いそがしいと思う。自分  
からは、言いくいけど手紙なら、伝えやすい。家ぞくのためにできることがあれば、  
進んでやりたい。母の日の時は、おもいつきり、休んでもらいたい。自分を産んでも  
らったお母さんに、心から感謝をしておきたい。お母さんだけではなく、お父さんの  
お手伝いもしていきた。家ぞくのために自分になにかできることをさがしたい。

お父さんとお母さんに感謝

野神小学校六年

丸田海翔

ぼくは、お父さんとお母さんに毎日感謝をしています。料理をしてくれたり、必要な物を買ってくれたりします。去年と今年の夏、ぼくはお腹が痛くて入院しました。その時に、お母さんはぼくのことを見てくれて、ぼくが眠るまでいっしょにいてくれました。お父さんは、家でみんなのために料理をしてくれたり、仕事を休んでぼくを見に来てくれました。ぼくは、いつもお父さんとお母さんに何もできていません。なので、お父さんとお母さんがつかれてる時は、ぼくとお姉ちゃんもいつもお母さんとお父さんがしていることを協力してやりたいと思います。

ぼくのおとうさん

有明小学校二年

安樂多豊

ぼくのおとうさんは、いま五百とうちかくのうしをかつています。いきもののせわをするしごとなので、休みはありません。でも、うしが大ききなので、いやではないそうです。そんなおとうさんが、ぼくたち家ぞくをささえてくれています。大きくなったら、こんどはぼくがおとうさんのお手つだいをして力になっていこうと思います。だから、それまで元気でいてね。

おかあさんへのかんしゃ

有明小学校二年

山下壮真

ぼくは、おかあさんとくらしています。おかあさんは、いつもおしごとでつかれてるけれど、かえってきてもぼくのためにがんばっています。「今日もつかれた。」と言いながらも、ごはんを作ってくれたり、ぼくのしゆくだいや時間わりのかくにんをしてくれたりします。これからも、おかあさんがぼくのためにがんばってくれるので、すこしでもおてつだいをしたいです。おかあさん、いつもありがとうございます。

わたしのお父さん、お母さんへ

有明小学校三年

南瀉優衣

わたしは、お父さんとお母さんが大好きです。いつもいつもめんどうをみてくれます。でも、いそがしい日や、たいへんな日、つこうで仕事が終わるのがおそくなつて帰るのがおそくなる日もあります。でも、帰ってきたら、お母さんやお父さんが「ただいま。」といつも言うので「おかえり。」とわたしもいいます。いつもめんどうをみてくれていて、たいへんな日もあると思うけど、元気なのがわたしにもお母さんやお父さんにも一番うれしいです。お母さんとお父さん、「いつもめんどうをみてくれてありがとう。」

私のお母さん

有明小学校四年

和田上ひなた

「へ屋をかたづけなさい。」「宿題をしなさい。」いつもやろうと思ったことを言われる。だからしつかりやろうと思う。しかし先に言われる。お姉ちゃんがほしいなあと思うときもある。だけど長女に生まれたから妹や弟のお手本になる。だから少しだけまって言っただけ。お手っだけは、しつかりしているよ。べんきょうもがんばっている。だけど、お母さんは、やさしい時もある。分らないときはおしえてくれる。お母さんがいつも言うのは、私がりっぱな大人になるためだよ。私は、やさしいときもどっちも好きだからね。

私のしょう来のゆめ

有明小学校四年

吉岡生望

私のしょう来のゆめは、ほいくしになることです。私は赤ちゃんや小さい子どもが大好きなので、ほいくしをめざしています。お父さんやお母さんもほいくしだからおそろいだなあと思います。お父さんやお母さんはどうしてほいくしになってたんだろうと気になります。こんど教えてください。小さい子どもたちは、分らないことがたくさんあるからいろいろなことをおしえてあげたいです。お父さんとお母さんには言ったことはないけれど、いつかいつしよにはたらいしてみたいです。

お母さんにいってもらったから

有明小学校四年

山本真衣

私のしょう来の夢は、ほいくしです。なぜなら、ほいくしは、子どものみんなと、楽しくあそんだり、おえかきをしたりするからです。あと、お母さんが「ほいくしになつたらいいんじゃない。まいに合うと思うよ。」と言ってくれたのでいいと思って、しょう来の夢にしました。でも、ほいくしは、思いやりやえがおが大切です。だから、ほいくしになるためにがんばりたいと思います。

お母さんありがとう

有明小学校六年

篠田彩香

私は、友達には感謝を伝えられますが、母には、なかなか伝えられません。だから、この機会にぜひ文で伝えたいと思いました。私は母に感謝してもしきれないほどですが、その中でも伝えたいことが三つあります。一つ目は、いつもご飯を作ってくれることです。毎日四人分のご飯を作ってくれます。二つ目は、かぜをひいた時などに病院につれて行ってくださることです。いつも心配やかん病をしてくれれます。三つ目は、勉強を教えてください。宿題で分からない問題があったらいていねいに分かりやすく教えてください。いつもたくさん助けてもらっています。私は、そんな母が大好きだし、「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。お母さんありがとう。

大好きだから

有明小学校六年

渡邊あやめ

「大好きだから、しかるんだよ。」「きらいで、いじめたいからおこってるわけじゃないんだよ。」「一年生で心が荒れていた時、失敗をしてしまった時、どんな時にも、私の母は大好きだからしかるんだと言ってくれた。どんなに失敗しても、ズルをして、大好きだからちゃんとしてほしい。正しい道を進んでほしい。という思いをこめて、ガッツリしかってくれた。大好きだからと言われるたびに、「しっかりしなくちゃ。」「もつとがんばらなきゃ。」「と考える。そして、「この人の子供に生まれてよかったです。」と強く、強く思う。だから、母の役に立つことをしたい。私は将来、絶対に母を幸せにしてみせる。私のように。

ありがとう

お父さん、お母さん

有明小学校六年

諏訪結音

私は、この十二年間生きてきて、父と母にたくさんめいわくをかけてきたなと思います。でも、その度、父と母は、やさしく付き合ってくれます。私は、めいわくをかけているのに、やさしく付き合ってくれる父と母に「ありがとう」と感謝しています。その「ありがとう」という言葉を伝えられていないので伝えられるようになりたいです。父と母にはまだまだ、たくさんめいわくをかけてしまうかもしれません。でも、父と母の負担にならないように、めいわくをかけるのも、ほどほどにしていきたいなと思います。これからは、すなおに、たくさん「ありがとう」を伝えられる人になりたいです。

おかあさんへ

通山小学校一年

緒方士英

おかあさんいつもサッカーにおくってくれてありがとう。いつもおいしいりょうりをつくってくれてありがとう。おさらをあらってくれてありがとう。しゅくだいのまゝるつけをしてくれてありがとう。おかあさんがだっこするのが好きです。おかあさんおしごとがんばってね。

おかあさんへ

通山小学校二年

やのゆず

おかあさん、いつもしよつきをあらったりおりょうりをつくったりしてくれて、ありがとう。おかあさんのつくったミートボールが、とてもおいしいよ。こんど、いっしょにつくろうね。おかあさんがいそがしいときには、わたしがしよつきあらいをしあげてあげるね。おかあさんのいいところは、「だいすきだよ。」「と、わたしに言ってくるところだよ。わたしもおかあさんのことが、だい、だい、だいすき。



お父さんへ

通山小学校二年

立迫あたる

いつもおしごとがんばっているね。たまにつくるお父さんのからあげがめっちゃおいしいです。お父さんいつもウーパールーパーのすいそうの、そうじがんばっているね。ぼくもお父さんとやりたいな。お父さんいつもカナヘビのえさをいっしょにつかまえてくれてありがとう。しろいゴキブリは、はっぱのしたにいるのをおしえてくれてうれしかったです。

お母さんへ

通山小学校三年

松久保千愛

いままでそだててくれてありがとう。お母さんのところに生まれてきて、どんなせいちょうしています。お母さんのえ顔を見ると、とつてもゆう気が出ます。だからお母さんをおこらせないようにしたいです。お母さんがつかれた顔をしないようにお手つだいもたくさんするからね。いつもわたしを大切にしてくれているお母さん、一番大好きだよ。大人になったらお母さんみたいな人になりたいな。これからもたくさんわたしのこと大切にしてね。

父と母へ

通山小学校六年

飯田健心

ぼくや弟のために夜おそくまで仕事をしてくれてありがとう。たん生日は、ぼくがすごくほしかったパソコンを買ってくれてありがとう。ぼくのがままを聞いてくれてありがとう。ぼくがかぜをひいたとき仕事をぬけて、すぐ家に帰ってきてくれてありがとう。ぼくのなやみごとや、相談を聞いてくれてありがとう。夏休みは、旅行に行かせてくれてありがとう。ぼくといっしょにゲームやプログラミングをたくさんしてくれてありがとう。ぼくが宿題で分からないところがあったとき教えてくれてありがとう。ならいごとをさせてくれてありがとう。そして、いつも愛をくれてありがとう。

いつもありがとう

山重小学校三年

平瀬愛歩

お父さん、お母さん、いつもおいしいごはんを作ってくれたり、おやつを買ってくれたりしてありがとう。わたしが小さいとき、たくさんおせわしてくれたから、こんなにせい長しました。わたしが重たい物を持っているとき、お父さんは何も言わず持ってくれました。お母さんは、いつも「朝だよ。」とおこしてくれます。そんなお父さん、お母さん大好きだよ。これからもずっといっしょにいようね。よろしくね。

お父さんにつたえたいこと

山重小学校三年

北村かなと

お父さんは、いつも朝早くからお仕事に行って、ときどき、夜もおそくに帰ってきます。ぼくは、お父さんの体が心配です。だから、おふろでせ中をあらいます。その時に、「がんばっているせ中だな」と思いながらおらっています。いつも家族のために、ごはんを食べさせてくれてありがとう。いつも仕事をがんばってくれてありがとう。ぼくはお父さんのことをたくさん助けてあげたいと思います。お父さん、体につきをつけてがんばってください。

お母さんへの思い

山重小学校五年

益山龍河

お母さんへの仕事や家庭のことをがんばってくれてありがとうございます。大家族なのにごはんやせんたくものをしているのがお母さんのみりよくだと感じました。ぼくも一人でみんなのごはんやせんたくものをお母さんのようにできたらと思います。また、お母さんはやさしくてぼくの心をいやしてくれます。ぼくは、たくさん助けたりとかしたことがないので、ぼくもやさしくなって、勉強をがんばりたいです。ここまで育ててくれてありがとうの感じやをいっしょうわすれせん。

お父さんありがとう

山重小学校六年（おひさま）

崎田智大

いつも、家族のために働いてくれて、ありがとう。ぼくは働いているお父さんが大好きです。お父さんは整備士で、コンバインやトラクターなどの機械を直すことができます。消防団に入っていて、台風の時や火事のとくに地域の人を助ける仕事に行っています。制服を着て出かけるお父さんは、すごくかっこいいです。おうちでも、ぼくたちにご飯を作ってくれます。お父さんが作るオムライスは最高においしいです。ぼくもお父さんみたいに人を助ける仕事をしたいです。そして家族を大事にする人になりたいです。



## お母さんへの感謝

松山中学校二年 金子琉音

毎日のように朝起きない私をたたき起こしてくれたり、夜おそくまで家族のために家事をしてくれたり、私が落ちこんでいる時、そばによりそって話を聞いてくれたりするお母さんに感謝しています。言いたくない事も私のために色々言ってくれたり、反抗期の私にもしつかり受けとめて話を聞いてくれるお母さんは自まんです。でもお母さんが悩んでいる時に何もしてあげられない自分がぐやしいです。なので私にしてくれるみたいに自分も同じことが出来る人になりたいです。いつも優しいけど、ときには厳しく怒ってきたり、一番に家族を思ってくれるお母さんが私は大好きだし、感謝しています。いつもありがとうございます。

## 感謝の手紙

松山中学校二年 今村汐花

私の母は家族にとって絶対にいなくてはならない存在です。私は小学四年生のときに手術をしました。とても不安でたくさん泣いていたときにそばにいて「大丈夫。」と声をかけてくれたのは母でした。そのときの母の「大丈夫。」その一言で私の不安が和らぎ、たくさん勇気をもらいました。しかし、私はすぐに母に反抗してしまったり、けんかをしたりしてたくさん迷惑をかけています。でも、そんな私をずっと大切に思い育ててくれていた母には感謝の気持ちでいっぱいです。そんな母と一緒に笑い合っている時間が私にとってはとてもとても幸せな時間です。これからもたくさん笑い合い、たくさん思い出をつくらせていきたいです。いつもありがとうございます。お母さん。

## 「ありがとう」の次

松山中学校三年 松山心海

私は母が大好きです。母がいると私は自然と笑顔になります。悩みごとがあると相談してくれる、最後に私は「ありがとう」と感謝の思いを伝えます。私は母が家事をしている時、見かけたら手伝うようにしています。母は忙しいのに私の世話をしてくれます。私は「ありがとう」と母に言っていますが、「いつもありがとう」という言葉を言ったことがありません。なぜなら、この言葉を言う時は、私が母に恩返しをする時にいうと決めているからです。私はまだ半人前で、母がいないとだめです。だから、私が就職し、一人前になったら、心を込めて、「いつもありがとう」と、母に伝えたいです。



いままでありがとうこれからもよろしく

志布志中学校一年 山角莉々佳

私の家庭は、母がいない父子家庭です。なのでいままで私を育ててくれたのは父なのです。家庭の事は全部、父がしてくれています。だれよりもおそくねて、だれよりも早く起きています。私は、こんな父をそんなけいし、感謝しています。そして、父がいそがしい時は、私の兄が父をサポートしています。父をサポートしてくれている兄にもそんなけいし、感謝しています。私が大きくなったら、父と兄みたいになりたいです。でも、まだ中学1年生なのでもう少し父と兄に助けてもらおうと思うので、よろしくおねがいします。

父が作った水筒

有明中学校一年 田代玲

僕は、いつもお父さんが作ってくれた水筒を飲んでいます。お父さんが作ってくれた水筒は、季節によって温度が違います。春、夏の際は冷たく、秋、冬になると温かい水になります。僕は、お父さんが作った水筒に元気をもらっています。

私のためにありがとう

有明中学校一年 原田美樹奈

お母さんへ、いつも私のために働いてくれてありがとう。ご飯や洗たくを仕事から帰ってつかれているのにしてくれてありがとう。私をもっと勉強を頑張っている仕事につけるように頑張るから、これからも体に気をつけておたがい支えながら頑張ろうね。よろしくおねがいします。

両親へ

有明中学校二年 土橋さくら

お父さん、お母さんいつもありがとうございます。私を産んでくれたことはもちろん、これまで育ててくれたことに感謝しています。家族での楽しい思い出もたくさん心に残っています。私が落ちこんだとき、心配事があったときはそばに寄り添い、適切なアドバイスを教えてください、とてもうれしく思っています。そのおかげで今の私がいると思っています。これから先、私もお父さんやお母さんに少しづつ今までの感謝の気持ちをお伝えいき、支えていけるようになりたいです。今後よろしくおねがいします。

言葉の重さ

有明中学校二年 南希代華

いつもおそくに帰ってきて夕飯のしたくをしてそして私の習い事の送り迎えまでする。そんないつも忙しい母の口ぐせは「言葉は消しゴムで消せない」だ。よく言葉について話をすることがある。「言葉は時にナイフと比にならないくらい相手の心を深く傷つけることがある。だから発する言葉にはちゃんと自分の責任をもってほしい。」そう言われたときハッと気がついたことがある。今現在コロナウイルスに感染した人が誹謗中傷を受けている。きつと誹謗中傷をする人は、自分の言葉に責任をもっていないと思った。私はこれに気がついて自分の言葉の責任を持ちたいと思った。それに気づかせてくれた母に感謝したい。

いつも、ありがとう

有明中学校三年 西村二郎

私の父は、一言で言うところ「怖い」というイメージだ。でも、父は私からすると不器用なだけですごく本当は優しい人だ。私の父はすごく家族を大切に思ってくれているだけどうざつたこともある。でも、自分たちのことを思ってくれていると思うとすごくありがたいことだ。私の父は、「掃除、準備、あいさつ、気づかいができれば大丈夫。」って言っている。最近その意味がやっと分かってきた。そんな父へ「いつも、ありがとう」

感謝している父

有明中学校三年 猪鹿倉遙海

私は、高校受験に向けて受験勉強を頑張っています。私が感謝している人は父です。父はいつも私の受験勉強の問題を作ったり、できない問題には絵を描いたり、説明を書いて分かりやすく教えてくれます。仕事から帰ってきたら、問題集や過去問を机において「今日も作るぞ！」と気合いを入れて作ってくれます。私はそんな父を見て、「私のために父は合格できるように一生懸命してくれているんだ。」と思うと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。いつもありがとう。合格できるように頑張るからね！

お母さんへ

宇都中学校一年 江野さくら

いつも、ありがとう。私を大きく元気に育ててくれてありがとう。病院でいそがしいのに家の洗濯やごはんをつくってくれてありがとう。私がお母さんを見てごめんね。私はお母さんに産んでもらって育ててもらってとても幸せです。

あこがれのお父さんへ

宇都中学校一年 松井琉斗

毎日、夜遅くに寝た時も、朝早く起きて、毎朝、元気な笑顔を僕に見せ、僕たちのために、そして、姉弟と母のためにがんばってくれています。父から学んできた事は、かぞえきれないほどあります。料理もバスケットも勉強だつて、父から学んできました。僕からみると父にできないことなんて一つもありません。僕は、そんな自慢の父を持って生まれてきた事を、本当にうれしく思っています。これからも、体に無理をせず、その、僕にはこえる事ができない、大きな背中をいつまでも、いつまでも見せ続けてください。

感謝の思い（母へ）

宇都中学校一年 迫川雫

お母さんと暮らしてもう十三年になった。いろいろとめいわくをかけたこともあり苦しめたこともあります。しかしお母さんは、顔にも出さず行動にも出しません。お母さんの体調が悪い時、私はお母さんに言われてから行動し、ちよつとしたことしかお手伝いしかできませんでした。しかし体調が悪かった次の日に、家のことを沢山していました。その時私は、「こんなに沢山やっているとんだ。」と思いました。私は、お母さんがやっていた半分しかやっていませんでした。お母さんは、大変なこともやりながらも日々のりこえてきたんだなと思いました。私も将来お母さんみたいな人になりたいと思いました。

早く言えるようになりたい

宇都中学校一年 吉原知里

私は時々父とケンカをしてしまいます。私が、悪いことをしたのに、たった六文字の言葉「ごめんなさい。」を言うことができません。でも助けてもらったときはたった五文字の言葉「ありがとう。」を言うことができます。私は「ごめんなさい。」を言えず、いつの間にか何もなかったかのように話したり、笑ったりしています。悪いことをしたのに「ごめんなさい。」を言うことができない自分が気に入りません。なので、悪いことをしたりケンカをした時は「ごめんなさい。」というたった六文字の言葉を「ありがとう。」と同じくらい言えるようになりたいです。

「ありがとうございます」感謝の気持ちを両親へ

宇都中学校一年 福重海羽

私は、感謝を伝えることが少ないと思います。だから、日々伝えられない思いを伝えたいと思います。まずは、お母さんです。お母さんは、料理がとても上手で毎日おいしいご飯を作ってくれます。また、朝早く起きて洗たく物を干してくれます。いつも本当にありがとうございます。次に、お父さんです。お父さんは、仕事を一生懸命頑張ってくれています。休日には、野球やバレーなどさまざまなスポーツで遊んでくれます。いつも本当にありがとうございます。これからも私は、日頃の感謝を胸に日々過ごしていきたいです。また、命のありがたさを知っていける身になりたいと思います。これから先、「ありがとうございます」と伝えたいです。

お父さん、お母さんへ

伊崎田中学校二年 井畑爽菜

今まで育ててくれてありがとうございます。仕事や家事で疲れているのに学校での話や悩みを聞いてくれたり、見たいテレビを見せてくれたり、欲しい物を買ってくれたりしてくれてありがとうございます。大人になったら恩返しができるように頑張ります。平日は、宿題があつて家の手伝いができる日がほとんどないけれどこれからは、時間があるときは手伝いをするように意識します。習字の迎えも夜遅いのに毎週ありがとうございます。これからは先生のアドバイスをしっかりと聞いて少しでもはやく上達できるように頑張ります。私も来年は、受験生です。安心させられるように勉強も今まで以上にはげみたいと思っています。いろいろ迷惑をかけると思うけどこれからもよろしくね。

志望校合格で恩返し

伊崎田中学校三年 上村大元

僕が一番思いを伝えたい人といえば、母だ。母は朝から夕方まで仕事をし、帰宅したら夕食を作り、洗濯をし、やつと一息つく。そんな忙しい毎日を送る母に、僕はとてもお世話になっている。例えば、部活動の大会の送迎だ。特に県大会の会場が桜島るときは、朝早く起き、送迎し、応援してくれる。そんな母に、僕は口答えをしようことがある。中学生になつてからは特に多くなつた。けんかになることもある。そのまま謝まらずに、何もなかったことになっている、そのとき、僕は後悔するのだ。僕は本当に母に苦勞をかけた。だから、恩返しをするために、志望校に合格し、感謝を伝えたい。応援、お願いします。

## 今までの自分

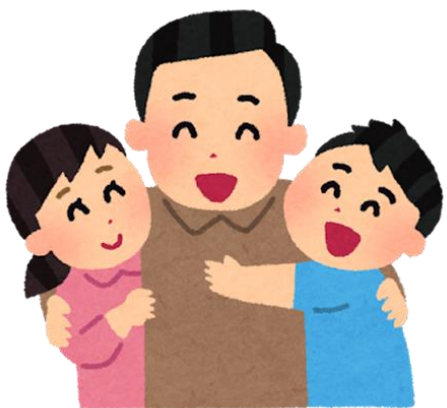
伊崎田中学校三年 竹下隆堅

僕は、母に多くのことをしてもらっている。しかし、「ありがとう」と直接言うことができていない。母は目が悪く毎日がたいへんなはずなのに、いつもおいしい料理を作ってくれている。たまに、僕も手伝いで一緒に料理することがあるけれど、目が悪いと料理を作るのは難しいはずだ。僕が小学生のころはまだ目が悪くなくて毎日送り迎えをしてくれた。しかも、すぐ母に口答えしてしまったり、無視してしまったりする。そのたびに後悔してしまう。これからは、「ありがとう」と言えなくても、行動で表していこうと思う。

## 感謝の気持ち

伊崎田中学校三年 中川蒼司

僕の父は、とてもいい父親だ。そう思う理由の一つ目は、父が仕事などで疲れていても、毎日きちんとご飯を作ってくれるところだ。父は、自営業で仕事をしていて、よく力仕事をしている。だから、毎日疲れているはずなのに、おいしいご飯をいつも作ってくれる。僕も、そんな父親になりたい。二つ目は、僕がバレーの練習で宇都中にいくときや、歯医者に行くために都城に行くときに、仕事をする時間を削って、送迎してくれるところだ。仕事が忙しいときでも、僕を送迎して、その分の仕事は、別の日にいつも以上の仕事をして補っている。まだまだ、父のすごいところはたくさんある。僕は感謝の気持ちを忘れずに生活したい。





# 家族へ



いつもありがとうございます

松山小学校一年 中尾拓馬

まいあさおばあちゃんはとちゅうまでおくつてくれ、おもたいにもつをもつてくれます。きんじょのおじちゃんもみまもつてくれます。まいにちありがとうございます。

ありがとう

松山小学校五年 今井大我

ぼくは、ひいおばあちゃんに今までありがとうございますと言いたいです。一番やさしくしてくれたのは、ひいおばあちゃんだったからです。ひいおばあちゃんの家におばあちゃんで行くと、いつもおかしや食べ物や飲み物をくれました。お正月には、お金をもらいたくさん祝ってもらいました。みんなではできなかったけど、ひいおばあちゃんはやさしくしてくれました。サッカーの試合で負けたときもはげましてくれました。それが、ぼくにはうれしかったです。もう亡くなってしまっただけひいおばあちゃんのやさしい気持ちは変わらないと思います。なので今度からは天国で見守っているとします。

おばあちゃんへの思い

尾野見小学校六年 宮地怜音

ぼくは、毎日おばあちゃんにお世話になっっていることに感謝しています。ご飯をくつてくれたり、せんたく物を干してくれたりして、感謝しています。おばあちゃんは、ぼくが大人になっても、社会人として立派に生きていけるようにと、色々なことを教えてくれています。だから、自分が立派な社会人として、生きていけるように、努力したいと思っています。そして、いつかおばあちゃんの期待に応えたいと思っています。そのためにも、勉強をして、たくさんの知識を得て、立派な大人になりたいです。

畑と山

志布志小学校五年 清水夢希

ぼくのひいおじいちゃんは最近体の調子が悪いです。手じゅつも三回ぐらいいました。それなのに、雨の日でも暑い日でも休まず、毎日畑と山の手入れに一人で行っています。お母さんが「休んで。じいちゃん」といっても「いや、山や畑がだめになる。」と言っていつもそんな感じです。畑は、とても広いです。米・にんじん・じゃがいも・スイカ・ナス・白ナスその他いろいろ野菜があります。いつもぼくが遊びに行くと、ニコツというもののように笑ってくれます。そして畑に行くときはぼくはついて行きます。野菜をたくさんくれます。そんなぼくを大切にしてくれるおじいちゃんを大切にしたいと思います。

おばあちゃんは本当に優しい

志布志小学校六年

福留漣

ぼくは、いまから宮崎のおばあちゃんについて思いを伝えたいと思います。ジュースを買うためにお金を貸してくれたり歩くのがつらいという時に車で送ったりむかえをしてくれたりありがたいです。いやなことがあったりしてもはげましてくれたりほめてくれたりしてとても助かりました。いなければどうなっていたのでしょいうか。自まんのおばあちゃんです。ぼくもいつか優しい人間になり、はげましたりほめたりしたいです。助けあたり協力したりしたいと思います。

祖父母へ

志布志小学校六年

園田真央

「早くせんね。」私は祖父母と生活していて毎日祖母から言われる言葉だ。自分で分かっているのに進んで宿題をしなかったり、反こうして困らせ怒らせてしまう。祖父は足が不自由で二本の杖がないと歩くことが出来ない。時々私が靴下をはかせることもある。時には言い合いのけんかをすることもあるけど、私は祖父母が大好きだ。私が大人になったら祖父母のお世話をしたいと思う。もう少し時間が必要だがそれまで元気で長生きしてほしい。いつも迷わくや心配ばかりかけているけど、「いつもありがとう」と心から感謝している。

いつもは言えないけど・・・

志布志小学校六年

山下心愛

お姉ちゃん、いつもありがとう。ケンカをしようことがあるけど、ピンチの時にいつも助けてくれます。元気がないとき、きんちようしているとき、泣いているとき、一人でいるとき、毎回なにかしらの手で声をかけてくれて、気がつくとき、いつも笑っています。そして何より、お姉ちゃんには感謝しかありません。なので今度、お姉ちゃんが私みたいなことになったら、私が助けたいです。

おじいちゃんはすごいなあ

香月小学校四年

大村夏穂

私のおじいちゃんは一人暮らしです。今年の夏休みに病気でおばあちゃんがなくなつたからです。おばあちゃんが入院したらいっしょに病院にとまったり、家にいる時はおばあちゃんのいたい所をマッサージしたりしてくれていました。でも、おばあちゃんがなくなつても、私たちの前では、涙も見せずに「あいつは最後までよくがんばった。」と言っていました。私は、火そう場でも泣いていたのに、よくがまんできるなあと思いました。ずっといっしょだった人とはなれるのは、絶対につらいことだと思います。でも、いつまでも悲しまずに気持ちを引きかえられるおじいちゃんは、すごいなあと思います。つらかったら、私がお顔をあげたいです。

ぼくが感謝している家族へ

香月小学校六年

八代勇志郎

いつも、サッカーや料理のことを教えてくれてありがとう。わからないことがあつたら、すぐ教えてくれたりするし、知りたいことがあつたらわかりやすく教えてくれることに、とても感謝しています。お兄ちゃん、頭は良いけども、サッカーの事もよく知っていて頼りやすいです。お姉ちゃんは、料理も勉強もできているから、とても尊敬しています。お母さんは、料理もスポーツも付き合ってくれるから、一番尊敬しています。お父さんは僕をよくあまやかすけど、そういう所を尊敬しています。これからは、勉強もスポーツも文武両道で一生けん命頑張ります。

大すきだよ

安楽小学校一年

隈崎裕音

おかあさん、おとうさん、おにいちゃん、いつもありがとう。おいしいごはんをつくったり、せんたくをしたり、いつもねかしついたりするおかあさん。わたしがころんだときやぐあいのわるいとき、やさしいおとうさん。いっしょに学校にいった、いろいろおしえてくれるおにいちゃん。みんな大すきだよ。おかあさんがわたしをうんだとき、おとうさんはわくわくどきどきしていった。うまれたときから、かぞくに見まもってもらって、たいせつにしてもらっているよ。わたしをうんでくれて、ありがとう。もうかぞくを見ているだけで、しあわせだし、サイコー。いつもしごとをがんばっている二人をみながら、わたしもそだっていくよ。

ママのおなかの中にいる赤ちゃんへ

安楽小学校二年

田畑來成

どんな音が聞こえますか。わたしや、みんなの音がとどいていますか。おなかに手を当てると、「ポン。」とけつてくるので、きつとかわいて元気な赤ちゃんだと思えます。赤ちゃんが生まれたら、ミルクをあげたり、だっこをたくさんしてあげるね。家ぞくみんなで、たくさんお出かけしようね。生まれてくるのを、楽しみにまっています。



家族に感しゃ

田之浦小学校三年 東咲希

わたしの家族は、いつもやさしくて、笑顔いっぱいです。どんな時でも、助けてくれます。わたしは、そんな家族がいてしあわせです。いつもたくさんのおうえんとパウーでわたしの心と体は、ポカポカです。休みの時は、家族で公園やサーティーワンに行ったりします。四人の時間がとても楽しくてしあわせです。こんなしあわせなことがあるなんて夢みたいです。これからも、ずっと家族を守っていききたいと思います。いつもわたしのために笑顔でいてくれてありがとう。これからもずっといっしょにいてね、と伝えたいです。一日、一日を大切にしてみよう。家族の時間をたくさんふやしていきたいと思います。いつもささいこうな一日をありがとう。大好きだよ。

ばあば

蓬原小学校六年

福留峻輔

いつも、朝ごはんを夜ごはんをつくってくれてありがとうございます。仕事もがんばっていて尊敬しているし、仕事のあとは、お母さんとばあばでキンキンに冷えたあれを飲むのが好きだから、ぼくはそれを取る係。見ている「仕事がんばっているんだな。」と思う。いま忙しい時期だけど、体に気をつけながら仕事をがんばってください。また、おいしいおいしい朝ごはん、夜ごはんをつくってくれたらぼくも元気になります。これからも家族とがんばろう！

妹

野神小学校五年

安楽希乃花

妹は二才です。とても明るく元気です。妹が笑顔だと、私うれしくなって笑顔になります。家族をにぎやかにしてくれるから、とても大切なそんざいです。私が悲しんでいたら、だきついてきて「大丈夫」と言ってくれます。なので少し、元気になります。妹はよく遊んだり、言うこときかなかつたりするけど、私は妹のことが大好きです。そして、一番かわいいと思います。どんどん大きくなったら、もっと一緒に遊んだり、勉強を教えたりしたいです。私は思いやりのある、やさしい元気な子になってほしいです。



ぼくが守る

野神小学校五年

山岡彪雅

ぼくの家族は、五人家族です。ぼく、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、しば犬のトラです。ぼくにとつて大切な家族です。だれが一番大切な人かは、きめられません。みんながぼくにとつて一番の大切な人です。今はまだ、ぼくはみんなに守ってもらっています。でもぼくがもう少し大きくなったらみんなを守ってあげる人になりたいです。そのために、今は、いっしょうけんめい勉強をして、りっぱな大人になりたいです。それまで、ぼくの大切な家族が元気でいてほしいです。いつもぼくのことを一番に考えてくれて守ってくれてありがとうございます。

かぞくのみんなへ

有明小学校一年

和田上美夢

ママ、あのね。いつも、ごはんをつくってくれてありがとうございます。ママのごはん、とってもおいしいよ。わたしもママみたいなやさしいおかあさんになりたいな。パパは、しごとをすぐくすぐくがんばっていて、とつてもかっこいいよ。いろんなものもつけてすごいな。おねえちゃん、べんきょうをいつもがんばっているね。わたしもおねえちゃんみたいにがんばりたいな。おとうとは、おはしのれんしゅうがんばっているね。これからもいっばいあそぼうね。パパもママもおねえちゃんもおとうともみんなだいすきだよ。

ありがとう私の家族

有明小学校五年

上野綾夏

「いつもありがとう。」私は、「家族」に「ありがとう」を伝えたいです。理由は、いつも私に、何かをしてくれたり、いつも、私のまわりにいてくれるからです。お母さん、お父さん、いつも、一生けんめい働いて、いつもそばにいてくれてありがとうございます。お兄ちゃん、妹、弟、いつもけんかしたりするけど、たまに、たよりになったりして、いつもそばにいてくれてありがとうございます。みんな、いつもありがとうございます。「ありがとう」と言われるような人になりたいです。

お兄ちゃん ありがとう

有明小学校五年

津中梨李

お兄ちゃん勉強を教えてくださいたり、ダンスを教えてくださいたりしてありがとうございます。私は、お兄ちゃんの言ったことに勇氣をもらったことがあるよ。例えば、私とお兄ちゃんが、ダンスにおくれそうな時に「大丈夫だって、おくれた理由を言ってあげるから。」と言われたことや、私と友達がケンカしてあやまりたいけど、あやまれない時に「だからケンカをするのはダメではないけど、自分がやってしまったことを思い出して、あやまってみれば！」と言われたことだよ。私は、こんな優しく思いやりのあるお兄ちゃんできったなと思うよ。私にとつてお兄ちゃんは、自まんのお兄ちゃんだよ。これからもがんばってね。

おばあちゃんありがとう

有明小学校六年

山本早紀

私の祖母は、料理上手で、面白くて、とてもやさしい心を持っています。祖母といたり祖母が作ってくれた料理を食べたりすると、とても心が落ち着き、あたたかい気持ちになります。私も、祖母のような人間になりたいです。これからも祖母の手伝いをしたり、いつしよに料理を作ったり、たくさん話したりして、楽しく過ごしたいです。おばあちゃん、いつもありがとう。これからも、よろしくね。

姉ちゃんへ

通山小学校二年

小橋鳳駕

いつもぼくがないたら体をやさしくとんとんしてくれてありがとう。姉ちゃんが学校の話をしたから今できてるよ。かけ算もおしえてくれたから今もまだできてるよ。いそがしいときに「しりとりをやろう。」といったらいつしよにやってくれてありがとう。べんきょうが、できないときもおしえてくれてありがとう。これからもよろしくね。

優しいひし田の祖母へ

通山小学校六年

上迫昇太郎

こんなぼくに優しくしたり、いろいろな物を作ってくれてありがとう。一昨年、祖父が亡くなって悲しいはずなのに、毎日笑顔でいてくれてありがとう。一人で十種類以上も野菜を作ってくれてありがとう。ぼくが失礼な事を言っても許してくれてありがとう。料理や野菜づくりを教えてください。初めて会って十年もたつてないけど、家族以上に信頼しています。そんな祖母がいてくれてとても幸せです。ぼくが死ぬまで心の支えになってほしいです。たとえまた何か失ってもぼくが心の支えになります。まだまだ知りたいことがたくさんあります。これからもずっとぼくのそばにいてください。本当に感謝しています。心から、「ありがとうございます。」

二人のおばあちゃんへ

山重小学校二年

郡山千幸

わたしには、二人のおばあちゃんがあります。有明のおばあちゃんは、やさいのそだて方を教えてくれたり、とてもおりょうりがじょうずで、時どきとてもおいしいおかずをもってきてくれます。大ききのおばあちゃんは、ぬいものを教えてくれたり、おとまりをさせてくれて、お散歩したり、絵本を読んでもくれたりします。わたしは、そんな二人のおばあちゃんが大好きです。いつまでも元気でいてほしいです。そして、これからもいつしよにいろんなことをしたいです。いつもありがとう。大ききだよ。

## 私の大切な祖母

松山中学校一年 岩重亜希

私の祖母は車いすに乗って生活しています。今は自分の家で生活しているけど、これまで何度も傷が悪化して、入院して手術してをくり返してきました。そんな祖母は今、元気に過ごしています。毎週水曜日、私は英語教室に通っています。その英語教室まで送ってくれているのが祖母です。父や母は仕事で送れないからです。車いすから車に移るときとても大変そうに移っています。それでも送ってくれています。そんな祖母にとっても感謝しています。今度は私が祖母を支えて、祖母に恩返しをしたいです。そして、もつと感謝を伝えたいです。

## 最高の一日

松山中学校一年 青山真梨乃

私の両親は、動物をあつかう仕事をしています。毎日世話をしないといけないので、毎日出勤します。そんな父と母が唯一、仕事を休む日があります。それは、私と妹の誕生日です。私たちの誕生日は冬休みなので、一日中、一緒に過ごせます。一緒に初もうでに行ったり、お買い物をしたり、毎年、最高の思い出になります。家族みんなで笑い合い、楽しむその日は、とても大好きです。こんな幸せな家族に生まれてきて、よかったです。これからも、たくさん感謝を伝えていき、母と父にか恩返しができるように、頑張りたいです。

一人で頑張っているおばあちゃん

有明中学校三年 猪鹿倉枝利那

私が中学一年生の時、じいちゃんが病院で肺炎で亡くなりました。それらいおばあちゃんは鹿児島市の家で一人で生活をしています。近くに身内がいなくて、私たちが泊まりにいくと「よく来たね」とうれしそうにいつて喜んでくれます。私もおばあちゃんの家に行くとおばあちゃんの手伝いをしますがいろいろと心配させたり面倒をかけたりにいると思います。私は中学校卒業後おばあちゃんと一緒に生活しておばあちゃんの家から高校に行こうと考えています。これからもいろいろと迷惑をかけるとおもいますが、私が大きくなったらおばあちゃんの面倒を見ようと思います。おばあちゃんへこれからも元気で長生きしてね。



分担し協力する

有明中学校三年 山川結衣

私は、時々弟に不満を持つことがある。私の家では弟と二人で洗濯物たたみの手伝いをしている。塾がある日は帰りが遅いため以前は弟がたたんでくれていた。最近、塾から帰ってきた後も私がたたむことが多くなっていた。最初は、「塾の時たたんでくれたから。」と思いつい何とも言わずたたんでいた。しかし、これが続くと不満を持つようになる。ある時一緒にたたんでいると弟のたたむスピードが遅く、私が多くとたたんでいた。「たたむの遅くて、私一人でたたんでいるみたい。」と言った。後から思うと、たたむ速さは人それぞれであり、ちよつと言いついすぎたと思つた。これからは、このような事がないように分担して進めていこうと思つた。

温かい場所

宇都中学校一年 本高里愛

毎年、学校が長期休み有的时候に泊めてくれるおじいちゃんとおばあちゃん。家族のようにあたり前に接してくれて、毎年とても温かい気持ちで過ごせます。冬になべを集まり食事をします。私も、久しぶりに会うと、話はずみません。そんな心が温まり、自然と笑顔になれるようなおじいちゃんとおばあちゃんの家。何十回、何百回も言っているけど、まだまだ言い足りない言葉。「いつもありがとう。おじいちゃん、おばあちゃん。」

大好きな祖父母

伊崎田中学校一年 里姫那乃

私の祖父母はとても優しいです。私が小さいころから一緒に、今は隣に住んでいます。一週間の五日は祖父母の家に行きます。行ったら手ぶらで帰らせない祖父母です。そんな祖父母が私は大好きです。いつも優しくしてくれている祖父母には感謝しかありません。もつと祖父母について知りたいです。祖父母はいちご農家なので冬は私もたくさん手伝います。いつも優しく、いろんな所に連れて行ってくれる祖父母が大好きだし、すごくありがたいと思つています。



先生へ



## 自分の特技

松山小学校四年

木藤龍真

ぼくは、絵かきになりたいです。それは、絵が少し上手だからです。もつとぼくの特技をみがきたいです。人の絵がむずかしいので人の絵のかき方を勉強して、人のこまかい所まで上手にかきたいです。上手になったら、先生の顔をかいて、先生にあげたいです。先生はうれしくなると思っています。

ありがとうございます

松山小学校五年

村田柚優

わたしは、先生にありがとうございますと言いたいです。先生は、わたしがまちがっている所などを、やさしく教えてくれます。五年になって、初めて入った先生でしたが、だんだん慣れていき今じゃ学校がとてものしいです。昔は、少しいじめられていたけど先生にそうだとすると、心がすっきりしました。わたしに、はげましや元気をくれた先生に、感しやしています。来年も、この五年生の担任になってくれないかなと思ったり、そういうことがたくさんあります。先生には今までの中でもたくさん思い出があります。まだ、五ヶ月しかたつてないけど、まだまだ楽しい思い出をみんなと先生と作りたいです。

ありがとう

泰野小学校一年

坂元蓮次

ぼくが、おねつでがっこうをおやすみしたとき、のりこせんせいと一ねんせいのみんながまいにち、てがみをかいてとどけてくれました。みんなからのおてがみをよんで、うれしくて、はやくげんきになってみんなといっしょにあそんだりべんきようしたりしたいな。のりこせんせいといちねんせいのみんな、しんぱいしてくれてげんきをくれてありがとう。

お世話になった中西先生へ

泰野小学校四年

本村優晴

秋風がすずしい季節となりました。中西先生お元気ですか。三年間泰野小学校でお世話になった本村優晴です。中西先生には三年間いろいろな勉強を教えてくださいました。ぼくが心に残っていたのは一年生のころに平がなを習ったことです。三年生になると音訓かるたを作れるぐらいになりました。また算数の時間には数字や計算を分かりやすく教えていただきました。三年間いつも優しい顔をして下さってとてもうれしかったです。ぼくが今まで楽しく学校で勉強したり生活したりできたのは中西先生のおかげです。これからもお体に気をつけて元気におすごしください。

ありがとうございます

志布志小学校五年 宮崎すみれ

紅葉の季節になりましたね。先生、元気ですか。私はとても元気です。先生は、誠実で、ときにおもしろいオールラウンダーです。5の1にとって先生との思いではとても大切なものになりました。先生が産休に入ってから少し教室が静かになりましたが、またにぎやかになりました。先生の授業はとても楽しく分かりやすかったです。赤ちゃんが生まれたら、また志布志小学校に来て赤ちゃんを見せてくださいね。先生に安心してほしいから先生がいなくても大丈夫というところを見せられるようにがんばります。お体に気を付けて過ごしてください。

やる気にさせてくれた先生

香月小学校六年 中山菜々

私の学校は、もうすぐ運動会があります。その中で、リレーのチームが変わり、順番も変えました。そのため、リレーのバトンパスの練習が一からになりました。六年生は、昼休みが外で遊べなくなり、バトンパスの練習が体育の時しかできなくなり、たくさんの人が、やる気がないようにみえました。私は、勝ちたいという気持ちが強かったです。けど、先生が「やる気がないならやんなくていいよ。」と言ってくれて、私もみんなも、しんけんバトンパスの練習をし始めました。みんなで協力して、一番と二番をとりたいです。こう思わせてくれて本当にありがとうございます。

本当に感謝しています

香月小学校六年 平原美音

私は、先生に感謝しています。私が、感謝していることは、いつも授業を楽しく分かります。先生に感謝してやることです。私は、六年生になる前まで、「学校いやだな」と思ったり、「勉強したくないな」と毎日のように思っていました。でも、六年生になり先生が担任になってから「勉強が楽しい」と思うことが増えました。授業で、時にはおもしろいことを言ったり、教室を楽しくしてくれたり、分からない人がいたら分かるまで、分かりやすく教えてくれたり、先生のおかげで、「楽しい」と感じるが増え、毎日がワクワクするようになりました。本当に先生に感謝しています。

先生ありがとうございます

潤ヶ野小学校二年 西山じゅん

わたしは、先生のきれいな字で字がきれいになりました。かん字がいっぱいあってむずかしいけれど、なんとかかん字がきれいに書いてうれしいです。先生がかん字のノートの下にきれいな字を書いてくれてうれしいです。いつもほめてくれてありがとうございます。先生がきれいな字だからわたしはきれいに書くことができます。先生、ありがとうございます。先生のきれいな字がわたしは、とてもすくすくすきます。わたしはこれを先生に話したかったです。先生、いつも笑顔でありがとうございます。わたしはとてもうれしいです。

せんせい、ありがとうございます

安楽小学校一年 前畑羽津季

わたしのたんじんのせんせいは、もうすぐがっこうからいなくなってしまう。おなかのなかにあちゃんがいるからです。せんせいは、いつもおべんきょうやうんどうをたのしくおしえてくれます。おこるとちよつとこわいけど、やさしいときは、ここにこしてげんきなせんせいです。おわかれするのは、さみしいけど、げんきなあかちゃんをうんでほしいです。せんせい、ありがとうございます。わたしもべんきょうやうんどうをかんばんるからね。

ありがとうございます

安楽小学校五年 平川寧音

一年生と四年生の時に担任だった先生に「ありがとうございます」の言葉をたくさん伝えます。先生、たくさんのおい出をつくってくれてありがとうございます。一年生のとき、私が泣いていると「どうしたの」と声をかけてくれてありがとうございます。四年生の時、一年生のころできなかったことがたくさんできるようになったことに気付いて、いっぱいほめてくれてありがとうございます。先生が担任でいてくれてとてもうれしかったです。

書道を通しての感謝

安楽小学校六年 福元愛梨

私は、姉のえいきょうで一年生のころから書道を習っている。初めての書道はきちょうととまどいを感じ不安だった。その時、心の支えになってくれたのが先生だった。段が上がった時は、いっしょに喜び、上手く書けなくて泣いてしまった時は、はげましてくださった。時には厳しく、時には優しく、一つ一つの事をていねいに教えてください。先生は、私のそんけいする人だ。六年間、書道続ける事ができ、自信がもてた事。そして、書道の楽しさを知る事ができたのは私の宝物だ。先生にたくさんありがとうございますを伝えたい。いつも明るく、前向きで笑顔の先生が私はとても大好きだ。これからも八段を目指してがんばっていききたい。

校長先生へ

森山小学校六年 田中遥

私の学校の校長先生は、昼休みになると私たちといっしょに遊んだり、毎朝歩道の前で私たちが登校するのを見守ってくれたりしています。森山小学校は、自然がいっぱいでいろいろな果実が実ります。それらを校長先生といっしょに収穫するのがとても楽しいです。また、一人一人の性格に合わせて声をかけているのですごいと思います。校長先生、いつも行事の時などに私がかんちょうしないよう声をかけてくださって、ありがとうございます。私も校長先生のように心を広くしてみんなと接し合えるようになりたいです。

ぼくを変えてくれた先生へ

伊崎田小学校五年 菅間奏心

ぼくは今、落ち着いて学校生活をおくっています。これは、三年生のときの担任の先生のおかげです。二年生までは、宿題もせずゲームばかりやっていたり、ほかの人のつくえやいすをけとぼしたりして、いろんな人にめいわくをかけたたりする子どもでした。でも、三年生になってから先生に出会ってから、先生の指導のおかげで今落ち着いた学校生活をおくれています。あのときは、本当にありがとうございました。

メッセージ

蓬原小学校五年 小中野蓮

先生、ぼくが休んだ時、かならずお母さんのスマホにメッセージをくれましたよね。ぼくは、その時がともうれしく明日はかならず行こうと思いました。そして、ぼくが友達関係で悩んでいる時もしんげんに話を聞いてくれたりして悩みがなくなったりしたから先生には感謝です。本当にありがとうございます。

小さな手紙

蓬原小学校五年 吉井よつば

わたしが三年生の持久走大会のとき、わたしは緊張していました。でも、先生が小さな手紙をくれました。なかには、「練習したから大丈夫。」「がんばれ。」など書いてありました。わたしは少し緊張がとけ、元気が出ました。先生に手紙をもらったのは初めてだったので、おどろいたけれど、すごくうれしかったです。あまり緊張していなかったおかげで、練習のときのように良い記録が出ました。本当に、ありがとうございます。

校長先生へ

野神小学校二年 たるのかずと

いつも、早おきをしてぼくたちを朝早くからみまもってくれてありがとうございます。校長先生のみまもりがあるので、すごくあんしんかんがあります。けいさつの人みたいですが、すごくかっこいいです。いつもくんれんがあるときに、すごいねとか、さういふひとことをもらって、ちよつと元気をもらいました。これからもよろしくおねがいします。

先生方に感謝

野神小学校六年

馬場優梨

私は、先生方に感謝していることがあります。それは、いつも一生けん命学習を教えてくれることです。学習で分らないところを、優しく教えてくれるところに感謝しています。宿題でまちがえているところがあつたら、最後まで教えてくれました。ありがとうございます。学習が終わつた後は、笑顔で楽しくさせてくれます。それで、みんなが笑顔になります。そして、私はどんな学校が楽しくなっています。私が先生方に伝えたいことは、いつも学習を一生けん命教えてくれて、まちがえているところを最後まで教えてくれてありがとうございます。本当に感謝しています。

大きくなつたら

有明小学校一年

原田優菜

せんせい、あのね。わたしは、大きくなつたら、学校のせんせいになりたいです。学校のせんせいになつたら、子どもたちとたのしいことをいっぱいしたいです。さんすうやこくご、おんがく、せいかつ、どうとく。いろんなべんきようをがんばっている子どもたちを見たいなあとおもいます。学校のせんせいになるために、一ねんせいのべんきようをがんばるぞ。

日頃のおもい

有明小学校六年

上村優奈

私は、五年生の時から担任の先生に伝えたいことがあります。それは、感謝の気持ちです。いつも、私のふざけにのつてくれたり、困っている児童がいたら相談にのつてあげたり、いつもありがとうございます。先生の長所は、一人一人に熱心に協力するところだと思つるので、そんな先生に、卒業までの間「たくさん助けられたな。」と思えたらうれしいです。先生いつも本当にありがとうございます。

感謝したい先生

有明小学校六年

川畑早彩

二年連続で同じ先生が担任になりました。私は、そんな担任の先生に感謝しています。いつもめいわくかけたり、でも時には、笑わせてくれたりするとっても優しい先生です。でも、おこらせたら、とってもこわい先生です。私は、そんな先生に感謝の気持ちでいっぱいだけど面と向かつては言えなくてつい強がりを言つてしまいます。でも心の中では、感謝いっぱいなので、今後も、先生の授業をしっかり聞いて、先生をこまらせないように努力したいです。先生いつもありがとうございます。あと、数カ月しかないけどよろしくお願いします。

担任の先生

有明小学校六年

栢山凜

先生、ありがとうございます。相談にのってくれたり、「自信もって」などの勇気づける言葉、とても、がんばれました。先生のおかげで成功した委員会、一年生を迎える会などすべて、先生のアドバイスがあったからの「成功」です。私も先生に教わったように低学年や困っている友達がいたら、いろいろなアドバイスができる最高学年でありたいと思います。あと半年ですが、これからもいろいろなことを教えてください。いつもありがとうございます。

さくらせんせいへ

通山小学校一年

祝田紗良

すいようびは、えいごをおしえてくれて、ありがとうございます。がつこうで、としよしつへいったとき、えいごのほんをよくかります。えいごをならっていて、よかつたとおもいます。「U」と「A」のちがいは、くち(した)。がつこうのあさのかいで、うたうたのかしに、えいごのところもあります。えいごをならっているのだから、わかりやすく、うたいやすかったです。二ねんせいになっても、えいごをつづきたいです。これからも、よろしくおねがいします。

たんにんの先生へ

通山小学校四年

矢野昂

いつもやさしくしたりたまにきびしくしてくれてありがとうございます。ぼくは、漢字がにがでけど、きれいに書いて先生にほめられたいです。みんなでかんばつている音楽発表の練習でも、ちゃんと止めるところや休むところをはあくして、しんけんにやりたいです。楽しい時や悲しい時でも、先生と遊びたいです。なので、音楽発表が終わったら、先生とみんなで、毎日サッカーがしたいです。五年になっても、たんにんは先生がいいです。

先生方へ

通山小学校五年

深江笑輝

いつも、めいわくをかけてごめんなさい。わたしたちのために注意をしているのに言うことを聞かなくて、ごめんなさい。体調が悪いときに、保健室につれていってくださいます。これからがんばってください。



きよ年の校長先生へありがとうございます

原田小学校二年

ケットナージミー

ぼくは、きよ年の校長先生につたえたいありがとうが二つあります。

一つ目は、マジックを見せてくれたことです。ペンをみじかくしたり、手にものをくつつけたのを見ました。校長先生の手はすごいなと思いました。

二つ目は、校門で見まもってくれたことです。毎朝みんなが学校にくる時に、おうだんほどうに立って、じこがないように見てくださいました。

ぼくたちのために、いろいろしてくれてありがとうございます。もっと話したり、いっしょにあそんでみたかったです。

「ぎゆうにゆうが、のめません。」

山重小学校一年

木村寧呂

わたしは、なきながらせんせいになりました。しょうがつこうにはいったら、がんばってのもうとおもっていたけど、めのまえにぎゆうにゆうがでてきたら、ふあんなきもちでいっぱいになって、のめませんでした。でも、せんせいは、おこらずにわたしをほげましてくれました。「むりしなくていいよ。」せんせいが、やさしくいってくれて、きもちがらくになりました。そして、ぜんぶのめるようになりました。そのとき、せんせいから、ギューとしてもらえて、とてもうれしかったです。せんせい、ありがとうございます。

母みたいな先生

松山中学校一年

ハーンイバラール

ぼくが、中学校に入ってから、いろんな先生と出会いました。その中でも部活動の先生にめっちゃ感謝しています。理由は、部活の先生は、社会の先生でもあって、母みたいによさしいです。部活に入る前は足が遅くて体力がなかったです。だけど、部活に入ってから、どんどん走りが速くなり、体力もついています。それがわかったのは、体育祭でわかりました。部活の先生のおかげで走りも速くなり社会の勉強も楽しくなってきました。母みたいな先生にこれからも感謝していきたいです。そして、らい年いるかどうかかわらないので、おしえてもらったことをわすれないで、これからもいかしていきたいと思います。先生、今までほんとうにありがとうございます。

## 感謝

松山中学校一年

福元さくら

「あたりまえのことをあたりまえにする」これは、私たちが小学六年生の時に担任していた先生がよく言っていたことです。この先生は本当にすばらしい方でした。おもしろくて、楽しくて、でも、ときにはきびしくしかつてくれる良い先生でした。ピアノをひくこともできます。特に私は、その先生から「責任感」の重要さを学びました。そのころ、最高学年であった私たちに「責任感を持ち、頼られる人になりなさい」と教え続けてきました。そのおかげで、今、中学校の先生から頼られる存在になっています。これからも先生が教えてくださったことを胸に、立派な大人になっていきます。先生のことは一生忘れません。お世話になりました。

お世話になった最高の先生

松山中学校一年

福元百合愛

私は小学生の頃に出会った音楽の先生に感謝しています。私は、小学五年生のときにピアノに挑戦しました。ピアノ教室に通っていなかった私はそのことを先生に話すと毎日のように昼休みにピアノの指導をしてくださいました。さらには、発表の時間まで設けてくださいました。そこで、中学校に入学してからのことを生かそうと吹奏楽部に入部しました。演奏することほど楽しいことはないと思うほどになりました。将来は先生のように立派な心を持ったすばらしい奏者になりたいです。私の夢を広げてくださいました先生には感謝してもしきれません。ありがとうございました。



地域の方へ

夢や目標

友人へ



今、一番工夫していること

松山小学校四年

小野巧人

ぼくが今、一番がんばっていることは、鉄ぼうです。鉄ぼうは苦手なので、友だちにアドバイスしてもらったり、お手本を見せてもらったりしています。体を曲げるのは苦しいけれど、がまんしてがんばっています。目ひよりの地球まわりができるようになるために、前まわりを成功させたいです。

しぶしのまちをかつこよく

泰野小学校二年

渡辺大

ぼくのおとうさんとおかあさんは、さいたまとうきょうからきました。しぜんあふれる中でぼくたちをそだてるためです。ぼくは、しょうらいけんちく家になって、しぶしのまちがとうきょうみたいになるように大きなビルやかっこいいお家をプレゼントしたいです。そして、もっともっとしぶしのまちをたくさんの人がすみたくなるようすてきなまちにしたいです。

あこがれのトウシューズ

尾野見小学校三年

園田結麻

「たくさんの足をオープンにしたり、きれいにおどれるようになれば、トウシューズをはけるようになるよ。」わたしは、バレエを習っています。でも、トウシューズをはいているお姉さんたちはせのびしなくてもずっとつま立ちしたり、同じところをグルグル回ったり、とてもかっこいいです。わたしも、早くトウシューズをはいてきれいにおどりたいです。そのために、バレエ教室のバレレッスンをとくにがんばっています。また家でも足を大きくひらいたり、きれいにおどる練習をがんばって取り組んでいます。いつかきつとトウシューズをはいておどりたいと思います。

自分へ

志布志小学校五年

池添莉央

自分が好きということ、他人から見ても、「おかしい人」だと思おう。けど私はそう思わない。この文章は正直な気持ちを書いています。私は日本に住んでいる。そして、何年たっても変わらなず泣き虫かもしれない。私は、自分がいるのが「ふつう」だと思つた。けど、「ふつう」ではなかった。幸せだと気づいた。自分を好きになることが大切だと思つた。どんなに悪口やひていされても私は歩き続けることが大切なんだ。自分を好きになって希望や自分が強くなることができた。そして性格もまるくなった気がした。今も自分を好きになっている。一歩ずつ歩んでいる。希望がまた一つ見えるまで……。

気しようよほうし

香月小学校三年

松元梨琉

わたしのしよう来のゆめは、たくさんあります。その中でも一番なりたいたいのが気しようよほうしです。なぜかというテレビを見てかっこいいなと思ったからです。どんな仕事をするかというと天気をよそうしてみんなにつたえる仕事です。自分も朝学校にかさをもっていくかどうか分かるので、とつても助かっています。わたしも、しよう来気しようよほうしになって、みんなのやくにたりたいです。そして、お父さんとお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんにもおうえんしてもらいたいです。どりよくしていきます。

ぼくのしょうらいのゆめ

香月小学校三年

上田ひゆうが

ぼくは、しょうらいのゆめは、しようぼうしになります。りゆうは、人の命をまもるためにがんばりたいとおもいます。それに、火をけすためにはたらきたいです。おばあちゃん、ぼくが小さい時から「あなたはしようぼうしになりなさい。たくさんの人をたすけなさい。」といっています。ぼくは、火がこわいけれど人の命がだいじなので、がんばって、がんばって、しようぼうしになります。

しょうらいのゆめ

香月小学校三年

園田り子

わたしのしょうらいのゆめは、絵本作家になることです。二年生の時、国語のじゆぎょうではじめて絵本を作りました。その時間がとても楽しくて、そして友だちや家族が楽しそうにわたしの絵本をよんでいるのがとてもうれしかったからです。いつかゆめをかなえるために、今よりもっとたくさんのお話を学んで、絵も上手にかけるようになりたいです。これからはととそばで、わたしのゆめをおうえんしてね。

未来の私

香月小学校四年

窪田陽菜

わたしの将来の夢は、ようち園の先生になることです。それは、小さい子が大好きで私を通っていたようち園の先生がいつもがんばっていてかっこよくて、あこがれだったからです。それと、人の笑顔を見ると元気が出てきて、うれしくなるからです。ようち園の先生になるために今、がんばっていることは、習い事のピアノや弟や妹のお世話などです。ようち園の先生へのとても小さな一歩ですが、立ちっばなしのようち園の先生になりたいと思います。これからはがんばりたいことは低学年や弟、妹にもっとやさしくしたいと思います。これからはたくさんようち園の先生になるためのど力をして、たくさんの人たちをここに笑顔にしたいです。

将来の夢にむかって

香月小学校四年

恒成夏希

わたしは、将来イラストレーターになりたいです。なぜかというところ、わたしが描いたイラストを、家族や友達が上手とほめてくれてイラストに少し自信がもてたし、もともとイラストを描くことが好きだからです。家でよくキャラクターを自由帳に描いていました。その時とても楽しかったので、イラストレーターの仕事がいいなと思いました。これからはがんばりたいことは、もっとむずかしいイラストにチャレンジすることです。色々な所で、上手でむずかしそうなイラストを見かけることがあって、わたしも描いてみたいなあと思うので、これから家でかいたりして、イラストを上手に描けるようにがんばりたいです。だからおうえんしてほしいです。

わたしの夢

香月小学校四年

田之上葉風

「わたし、声ゆうになるんだ。」これは、わたしが三年生の時に母に言った言葉です。好きなテレビアニメを見ている時、「この声を出している人は、どんな人。」と、母にたずねると、「声ゆうという人よ。」と教えてくれました。わたしは、声ゆうという仕事にきょうみを持ちました。いろいろなアニメを見てみると声ゆうは声を出すだけではないことがわかりました。言葉に思いをのせています。一つの言葉でも、声ゆうさんの伝え方によって、いろいろな感情が生まれます。声ゆうになるのはむずかしいと思いますが、わたしは、大きな夢に向かって走り続けます。

私の夢は設計士

安楽小学校四年

岸良望愛

私には、夢がある。それは設計士になること。三年生の頃、近所で家を建てるところを見た。柱が立ち、かべができ、屋根の形ができて、かべに色がぬられていった。人が気持ちよく住むための家が建っていくところを見るのは、楽しかった。どんな風に暮らすのかなと考えると、わくわくした。設計士になりたいと思うようになった。住む人に合った家。おしやれな家。だれも思いつかないようなめずらしい家。そんな家を設計できる人になりたい。父や母が「夢をかなえられるように、設計士のことを調べてみたら。勉強もがんばれ。」と言った。多くの人が、笑顔で住めるような家をつくる設計士になりたい。



今年こそ

安楽小学校四年

岡留麗音

「今年の全国大会もコロナで中止になった。」と空手の先生が言った。「またか。」ぼくはくやくしくてたまらなかった。延期されていた大会が今度は中止。「せっかく練習してきたのに。」ぼくは四才の頃から空手を習っている。始めた頃は、やめたいなと思うこともあった。でも今はそんな気持ちはない。初めての試合で三位になったときくやくしかった。一位になりたいと思った。だから続けている。練習をなまけた時、父がぼくをきびしくしかった。一時間以上説教。そしてぼくの気持ちは変わった。父が練習のために鏡を用意してくれたり課題を作ってくれたりした。やる気が出てきた。ぼくは今年の大会で一位をとりたい。

ぼくのクラスにありがとう

安楽小学校六年

本間洸瑛

ぼくのクラスの人はとにかく優しいです。けんかをする時も意見がちがう時もすぐ優しくしてくれたり、意見がちがう時は自分の考えをよく聞いて共感してくれたりします。そして、休み時間には笑顔で話しかけてくれます。また、分からない問題は先生が分かりやすく説明してくれます。体調が悪いことをすぐに分かって、体調の事を気にしてくれます。そして、クラス全体では、良いことをすればほめてくれるし、失敗しても次からがんばれば大丈夫とはげましてくれます。悪いことをしたら自分がこれからもやらないようにしかってくれます。この優しいクラスに入れてよかったし、優しくしてくれてありがとうと思います。

ありがとう

蓬原小学校五年

松崎成登

陸上を始めていなければ、大会で一位になつていなかったです。すぐほめてくれて、だけど、やめたいという気持ちもありました。でも、おうえんしてくれました。だから、やる気が出てきました。これからは、走りで「がんばる」と言いたいです。

学童の先生方へ

蓬原小学校六年

宮島彩望

先生方、五年間お世話になりました。宿題で分からないところを教えてくれたり、いろいろお話ししたりなど、とても楽しい日々でした。今は、学童をやめ、なかなか来れませんが、時間があるときにときどき遊びにいきます。本当にありがとうございます。



しょうらいのゆめ

野神小学校三年

ぬきざこまりか

わたしのしょうらいのゆめは、パン屋さんです。わたしの家は、お茶屋さんなので、そのお茶でパンをつくって自分のおみせでうりたいたいです。そして、つくりたてをかぞくにたべてもらいたいです。まず父さんと母さんには、一番にたべてもらいたいです。おじいちゃんとおばあちゃんいここにもたべてもらいたいです。そして、みんなにおいしいといってもらおうのもしょうらいのゆめの一つです。

しょうらいのゆめ

野神小学校三年

森重未空

わたしのしょうらいのゆめは習字の先生です。わたし一年生のさいしょから習っていて一年生の時よりきれいになってきてるから習字の先生になりたいと思いました。一年生の時はいそいでいてきたなかつたり自分でも読んでみるのがたいへんだったけど、二年生からゆつくりとていねいに書いて、自分で読んでみるのがたいへんだった。一年生の時よりずっと分かりやすいし読みやすかったです。それで今は二だんになりました。これからもあきらめないでいねいに書くことをわすれないで、これからもいっしょうけんめいしょうらいのゆめにむけてがんばっていくので、お父さんお母さんおうえんしてください。

だいすきなひでちゃん

有明小学校二年

前田愛梨

わたしは、おじのひでちゃんが大好きです。家にあそびに行つたとき自てん車にのせてくれたり、いっしょにゲームをしてくれたりします。前、ひでちゃんと夜に歩いてみると虫のこえが聞こえてきました。おとなになっても、ずっとひでちゃんと虫のこえを聞きたいと思いました。





水筒

有明小学校三年

岡田幸太郎

休み時間Rさんがぼくの水筒をとってくれた。ぼくは、「ありがとう」といいました。「やさしいな」と思いました。また次の日もそうしてくれた。ぼくはすごく「うれしいな」と思いました。それからぼくもやさしくしようと思った。友だちの手つだいをしたりしました。Rさんはすごいです。

地いきの人々にありがとう

有明小学校五年

種子田斗真

ぼくは、地いきの人々にありがとうと伝えたいです。理由は、いままでに、不しん者やイノシシなどのあぶない情報を学校にメールなどで知らせてくれて児童をきけんな目にあわせることなく、みんながあんしんして、登校や下校ができました。ぼくは、地いきの人々に一言「ありがとう」といいたいです。

少年団のかんとくコーチへ

通山小学校三年

緒方咲希

わたしは、ソフトボール少年団に入ってまだ四ヶ月だけど、かんとくやコーチのおかげで、とてもうまくなりました。バッティングの時は、バットの持ち方を教えてくださり、ありがとうございます。かんとくやコーチは、仕事をしながらソフトボールの練習やし合いをしてくださっているので、とても感しゃしています。わたしは、これからもっとかんとくやコーチに教えてもらって、ヒットを打ちたいと思います。六年生は今年までなので、たくさん練習して、声を出して、みんなについていきたいです。

かんとくへ

通山小学校四年

平川綾真

いつも、ソフトを教えてくださいありがとうございます。注意をしたり、やさしくしてくれたりしてくださってありがとうございます。自主練をしてというのは、自分のため、みんなが勝利にみちびくためなんだなど、あらためて思いました。バッティングもききたいしてくださってありがとうございます。ぼくのことを思って、しゅび位置を決めてくださってありがとうございます。仕事もがんばってください。ぼくがそつぎようするまで、ソフトをみんなに教えてください。いつか、いっしょにごはんを食べましょう。



ピアノの先生へ

通山小学校四年

染木結衣

いつもピアノを教えてください、ありがとうございます。これからもピアノをたくさん教えてください。私が中学生ぐらいになったら、むずかしい曲をひきたいです。高校生になったら、先生とアンサンブルをしたいです。早く先生みたいにどんな曲でもひけるようになりたいです。そのために、スケールやカデンツ、レパートリー、ジュニアをがんばります。ドリルもとばさないようにしていきたいと思っています。がんばるので、おうえんしてください。私も先生をおうえんしています。これからもがんばってください。

かんとくへ

通山小学校五年

松久保太誠

かんとく、毎週水、金、土ぼくたちに優しくソフトボールを教えてください、ありがとうございます。ぼくたち、通山ソフトボール少年団は、初心者ばかりのチームです。キャッチボールもできませんでした。試合でも、毎回、負けて悔しい思いをしてきました。でも、かんとくは、水、金、土毎日、一生けん命ぼくたちに、きそを教えてくださいました。そして、昨日、五年生以下大会で三位という記録を出せました。チームが勝てたのは、六年生が自分たちの練習をぎせいにしてもで教えてくださいましたから、そして、かんとくコーチが一生けん命教えてくださいましたからだと思います。ありがとうございました。これからも、お願いします。

わたしのしょうらいのゆめ

山重小学校一年

かとうさくらこ

わたしのしょうらいのゆめは、二つあります。それは、学校のせんせいかびようしのどちらかになりたいです。学校のせんせいは、たんにんのせんせいを見ていて、みんなにべんきようをおしえたり、こくぼんにきれいな字をかいいたり、すごいなおもいました。つぎに、びようしはわたしがいつもいくびようしつがあります。そこで、いつもかみをきってもらったり、かわいくむすんでもらったりして、とてもうれしいし、しあわせなきもちになります。そのきもちをほかのひとにもかんにじてほしいとおもいました。まだ、どれになりたいかきまってないけど、しょうらいの、ゆめのためにべんきようやしゆくたいをがんばりたいです。



十年後になりたい未来

山重小学校四年

黒木琉那

わたしの十年後はどうなっているのかな。なでしこサッカーの選手になりたいです。今わたしはサッカーの選手になりたくています。今年の夏休みには、チャレンジトレセンで屋久島に行きました。サッカー選手になるためにがんばることは、練習を真けんにする事です。友達はリフティングをたくさんできます。わたしは、千回くらいできるようにしたいです。「ど力はむくわれる？そうじゃないだろう。むくわれるまでど力するんだ」とサッカー選手が言っていました。これから、いろいろなたいへんなこともあるかもしれないけど、なでしこサッカーの選手になるまで、ど力をしつづけたいです。子ども達にそんけいされる選手になりたいです。

支えてくれた人

松山中学校三年

萩原寧々

私は水泳を頑張っています。そんな私を支えてくれる人がいます。その人があなたでありコーチです。私が、中学校に上がってから一緒に頑張っていた女の子がどんどん引退して行って女子が私一人になってしまった時がありました。私はその時すごく寂しい思いをしていました。あの時は本当に辞めたいという気持ちでいっぱいでした。そんな私に気づいて、コーチは楽しいメニューを考えてくれたり、疲れているにも関わらず、毎日優しく明るく接してくれたりしました。あの時の支えがあったからこそ、私は水泳部を辞めずに続けることができたし、県大会の決勝の舞台にも立つことができたのだと思います。本当にいつも感謝しています。ありがとう。

恩師へ感謝

志布志中学校三年

中江悠真

僕は、約七年間サッカーを習っている。小学校、中学校とチームは違い指導者も違う。この七年間、サッカー以外の挨拶や周りへの気配り、コミュニケーションをとることでの連携が図れるなど多くのことを学んだ。小学校から中学校でチーム、指導が変わり不安もあったが、サッカーというつながりから指導者と目標や思いが同じであり、指導者を信じてサッカーが続けられたと思う。時には厳しい指導もあったが、振り返ってみると今の僕が成長できたのは指導してもらった結果ではないかと思う。中学三年となり卒団を迎える今、指導者へ感謝を伝えたい。そして、更に成長し立派な人として恩返し出来る日がくればと願う。



地域へのありがとう

有明中学校一年 上野攻之助

私は、昔から、地域のイベントに参加しています。最近はコロナでできていませんが、次を楽しみにしています。私は習字を小学一年生のときから習っています。大きな教室ではなく、地域の人の家で教えてもらっています。今でも習字を続けています。地域の人たちがいなくなったら、自分はなかったと思います。ありがとうございます。

大切な友達

宇都中学校一年 山倉実空

私は、中学校に入学してあまり友達とうまくいかなかった時期がありました。その友達とは小さな頃から一緒だったのですごく仲良しでした。でも、小学校が違ったので学校でどんな感じだったのか知らなくて、誤解が重なることがたくさんありました。そして、ちよつとしたけんかも何回もありました。でも、今ではお互いを理解して悩み事があるときは、相談したりしています。相談したら心がすっきりします。なので、自分だけでかかえ込まないで誰かに相談した方がいいなと思えました。そして、いつも相談にのってくれて、仲良くしてくれる友達に感謝したいです。

おわりに

昔 子どもだったわたし

わたしも 昔は子どもでした



福田裕生

元気に遊んでは 泣いて 笑って けんかしては また泣いて 笑って  
つまずいては 気持ちがズンと落ち込んで でも また笑って

できることもありました できないこともありました  
そこに 努力してみよう という気持ちが 生まれました  
少しずつ 少しずつ できるようになって  
ほんわか うれしい気持ちに なったこともありました



苦しみを乗り越えたところに 喜びがあることを知りました  
悲しみのあとには いつか 幸せが 生まれることも知りました

幸せは 自分でつくっていくものだ と 知りました  
大切な人や まわりのみんなをも ちょっぴり  
幸せな気持ちにできる人に なれたらいいな と 思えてきました

いろいろなできごとの中で  
心がぎゅっとちぢんだり… ぷっくりとふくらんだり…



そういう子どもの時代があって 今のわたしがあるのだと 思っています  
昔 子どもだったわたし  
そのことをわすれない わたしでありたいと 今も 思っています

子育てや教育は、考えれば考えるほどその難しさに直面し、取り組めば取り組むほど、先のゴールが遠のくように感じることはありません。私たち大人が子供の頃そうであったように、子供たちは、様々な出会いや失敗・成功の体験を繰り返しながら、その子供なりに心を強くしていきます。やがて子供は、その子供なりのたくましさを身に付け、社会に揉まれながらも輝きを放つことのできる、かけがえのない存在に成長していくのです。

志布志市では、これからも、「きらり輝く二つのおしえ」として、一人一人のよさや「個性の伸長」とその融合の大切さを意味する『煮しめのおしえ』、練り上げることで姿が変わり持ち味が増す「確かな変容」を意味する『つけあげのおしえ』、握る人の温かみや一粒たりともおろそかにしない「感謝の心」を意味する『にぎりめしのおしえ』の具現化を目指し、様々な教育施策を展開してまいります。引き続き、ご理解とご支援をお願いいたします。

創刊に当たり、ご協力いただいた学校関係者、並びに寄稿してくれた児童生徒に心から感謝申し上げます。なお、令和四年度末（令和五年三月）に発行を予定している『志の言葉』第二巻には、保護者や地域の皆様方からの寄稿文も掲載したいと考えております。改めてご案内申し上げます。

令和四年三月一日

志布志市教育委員会 教育長 福田裕生

令和四年三月一日 発行

編集・製本 志布志市教育委員会